

# 日整広報 はつらつ

公益社団法人 日本柔道整復師会・機関誌  
www.shadan-nissei.or.jp

VOL. 228  
SEPT. 2014

9



## 巻頭言 心技体「心が変われば運命が変わる」…副会長 木山時雨

- ◎本流 §4. 柔道整復師の発すべき言葉 会長 工藤鉄男
- ◎2014年度第1回指導者候補日本研修閉講式
- ◎NHKワールドで放送決定!!
- ◎柔整サロン 柔道整復の未来のために 西条寿夫
- ◎チンギスハーンの国

---

## ●目次

---

● 巻頭言 心技体「心が変われば運命が変わる」 副会長 木山時雨	1
● 理事会だより	3
● 日整理事・日整保険部長、公益社団法人神奈川県柔道整復師会会長吉田充孝先生 享年66(満65歳)が逝去されました	6
○本流 § 4. 柔道整復師の発すべき言葉 会長 工藤鉄男	7
● 2014年度第1回指導者候補日本研修閉講式	9
● NHK 国際放送 NHK ワールドで放送決定!!	18
○柔整サロン 「柔道整復の未来のために」	19
● 新任保険部長に三橋裕之理事を選出	25
● 連載その② チングスハーンの国	26
● 会務執行状況	28
● 平成26年度日整主催学術大会一覧	29
● 日整 HP 案内「アンチエイジング講座」	29
■ 日整フォーラム 国民のため、地域住民のため、患者さんのため公益活動をしてまいります	30
北海道 関東地域 群馬県 千葉県 神奈川県 北信越地域 新潟県 石川県 東海地域 三重県 近畿地域 兵庫県 四国地域 香川県 愛媛県 九州地域 佐賀県	
○ちょっといい話 半世紀ぶりの産声 ～コウノトリが舞う里づくり～	43
■本の紹介 分子と心の働きを知れば本当の健康法がわかる	44
○私の夢 「私がここにいる理由」	45
■ 学術大会会員発表動画配信	46
日整 HP からご覧いただけます	47
● 学術・生涯学習講習会開催のお知らせ	49
■ 日整文芸	50
■ 編集後記	51
■ 表紙解説	52

---

## ●Web Page 日整ホームページ <http://www.shadan-nissei.or.jp/>

トップページの最新情報、健康情報誌「日整広報はつらつ」VOL.228  
または「日整はつらつバックナンバー」から入り当ナンバー広報誌を  
クリックしてご覧ください。QRコードもご利用ください。



# 心技体

## 「心が変われば運命が変わる」



公益社団法人日本柔道整復師会

副会長 木山 時雨

平素は会員ならびに関係者各位の皆様からご協力とご支援、ご指導を賜り心から厚くお礼を申し上げます。

昨年6月に工藤鉄男会長を中心とする新執行部が誕生して1年と2ヶ月が経ちました。この間、日整の活性化、療養費の適正化、柔道整復師業界信頼の回復、卒後臨床研修の制度化、柔道整復師団体の大同団結に向けた連携強化など、この業界に山積している課題に対して実現を目指し種まきしてまいりました。すでに芽を出し始めたもの、収穫に至ったもの、収穫は何年も先になるものもあると思いますが成果を導き出しつつあります。

その成果の一つは、6年後の東京五輪開催に向けての一般財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会の運営に各界から幅広い助言を得るための『顧問会議』が設置され、この顧問に業界を代表して本会の工藤会長が6月に就任しました。このことは、日整の「現実を改善する改革への強い情熱」と「理想を現実に変える大きな力」による活動の大きな結果の一つであると思います。

### 柔道整復以外の業務でも「柔道整復師」の名称使用可

もう一つの成果は、平成25年11月27日に厚生労働省医政局医事課長から「理学療法士」の名称の使用等について、「理学療法士が、介護予防事業等において、身体に障害のない者に対して、転倒予防の指導の診療の補助に該当しない範囲の業務を行うことがあるが、このように理学療法以外の業務を行うときであっても、『理学療法士』という名称を使用することは何ら問題ないこと。また、このような診療の補助に該当しない範囲の業務を行うときは、医師の指示は不要であること」との通知でした。これに対して、本会は同事業等において「機能訓練指導員」の名称使用のみ認められ、柔道整復師の名称使用は認められない不合理について、厚生労働省担当局に対して、粘り強い交渉を行ってまいりました。その結果、平成26年6月23日付事務連絡での照会のあった標記について「『柔道整復師』という名称を使用することは、差し支えない」との厚生労働省医政局医事課からの通知が発出されました。

このことにより今まで柔道整復師は介護予防事業等において「機能訓練指導員」としてのみの参画してまいりましたが、今後は柔道整復以外の業務を行う場合であっても「柔道整復師」の名称を使用し活動できることとなりました。これは非常に画期的なことでもあります。

### あきらめない力

今年の全国高校野球選手権石川大会の決勝戦は劇的な試合でした。0対8で迎えた9回裏、「笑えば前向きになれる」。必勝ならぬ「必笑」を今年のチームの合言葉にしてきた監督は、選手に“打者一巡の攻撃をやるぞ”と言いその回一挙に9点をあげ大逆転をしたのです。最後の最後まで笑顔絶やさなかった、監督、選手の決して“あきらめない力”に感動しました。

ベンチ入りできなかった部員、生徒、父兄、多くの関係者も同じ気持ちで戦ってきたと思います。日整も同様に会員の皆様や関係各位の大変なご支援のもとにあることは申すまでもありません。

柔道整復の技術や医療制度は、明治7年に西洋医学を取り入れてスタートし、先達が80年近く医療制度に奮闘し昭和33年柔道整復師施術に係る療養費の算定基準の実施まで、長い間努力してきた賜物です。先達が幾多の苦難を乗り越え試練に耐え現在に至るまで決してあきらめることなく、目標に向かって歩み続けた結果だと思えます。この不屈の精神を継承していくことが次の勝利に繋がるのだと思えます。

## 人生のチャンピオン

私の好きな柔道家の一人に1984ロサンゼルスオリンピック金メダリストの山下泰裕氏がいます。この山下氏の中学時代柔道部の恩師が大切にしていたのは、「人生の勝利者、人生のチャンピオン」になることだったそうです。どんなに柔道で頑張っても日本一、世界一なっても選手として頑張れるのは30歳くらいまで、大事なことは「柔道で頑張ったことを人生に生かすこと」だと言われたそうです。「柔道で学んだことをみんなが普段の生活の中で一生懸命生かしていけば、全員が人生のチャンピオンになれる。柔道はそのためにやるものだ」と。(「致知」平成26年7月号一部抜粋)

山下氏は、昨年の日整新執行部がスタートしたちょうど同時期に全日本柔道連盟の副会長に就任しました。この時期は暴力、セクハラ、助成金問題などがあり大変な時期でした。しかし、改善の必要なところを改革していったのです。その一つは子供たちや指導者がいつどこに行っても誰に会っても「私は柔道をしている」と胸を張って言える柔道界にしていくことだそうです。「礼節を持って自立した高潔さと品格のある柔道家を目指す」と。柔道チャンピオンの山下氏も、「人生のチャンピオン」を目指しています。

2012ロンドンオリンピック金メダリストの松本薫選手が小さいときから通っていた道場に私も所属していましたが、その恩師は、礼節・体づくり・技の習得・努力することに大変厳しい方でした。なかでも礼節を一番に重んじ道場で柔道をしているときだけでなく、道場を出てからも礼節を忘れることのないようにと厳しく指導されました。

## 「心技体」

日整の実行しなければいけない大きな課題の一つである卒後臨床研修制度の確立ですが、国家試験合格直後でも開業できる仕組みにも問題があります。

近年は、パソコンや携帯端末が著しく普及し、あの小さい画面を見ながら1日の多くの時間を過ごす人が多くなってきました。これでは、情報は入ってきますが、人と対話したり触れたりする実際の体験ができませんし、想像力やアイディアが出てきません。

毎年約5,000人の柔道整復師が誕生してきますが、この方々が研修でしっかりと臨床の技術とともに大切な礼節を身に付けて全国どの地域に出歩いていても活躍できるような素晴らしい環境づくりを願っています。

柔道整復師を取り巻く環境は、厳しいものがあり、諸々の問題を解決していくためには地道な努力と皆様の協力が必要です。会員諸氏のみならず国民皆様の一層のご理解と信頼をいただけるよう工藤会長をはじめ役員一人ひとりが役割を十分に認識し一丸となって鋭意努力する所存です。

「心が変われば、行動が変わる。行動が変われば、習慣が変わる。習慣が変われば人格が変わる。人格が変われば運命が変わる」。「心技体」とありますが、その中でも「心」が一番大事なのではないのでしょうか。

「思いやり、勇気、情熱、知恵、体験」も患者さんに対する心構えの心訓でしょう。柔道整復師の良き証しとなるように頑張りましょう。

会員の皆様方におかれましては、引き続きご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

# 理事会だより

## 総務部

### <平成26年度 第2回理事会>

開催場所	日本柔整会館2階理事会室
開催日時	平成26年5月21日(水)午後1時～午後3時40分
理事現在数及び定足数	現在数19名 定足数10名
出席者	理事19名中19名出席 工藤、木山、萩原(正)、豊嶋、佐藤、吉田、松岡、永田、萩原(隆)、阿部、市川、山崎、伊藤(宣)、三橋、高崎、大西、原、伊藤(述)、富永
理事外の出席者	内山監事
司会	豊嶋総務部長
開会の辞	木山副会長
議 長	工藤会長
閉会の辞	萩原副会長

### <会議の概要>

冒頭で議長が司会進行を総務部長に依頼し会議が開始された。最初に定足数を確認し、次に、議事録署名人は工藤鉄男会長と内山富之監事であることを確認した。

### <議 題>

#### 第1号議案『役員選任について(平成27年度からの改選に向けて)』

総務部長より議案について説明があった。審議の結果、理事の選任・選定については、定款改正も含めて、顧問弁護士や内閣府に確認をとりながら進めていくことを承認可決した。

#### 第2号議案『新入会員の初年度会費について』

総務部長より議案について説明があった。審議の結果、新入会員の初年度会費について平成26年度は優遇措置を行わないことを承認可決した。

#### 第3号議案『再入会者の対応について』

総務部長より議案について説明があった。審議の結果、退会時に未納の会費があった者が再入会する場合の入会規程を定め、当該未納分の会費の支払義務を明確にすることを承認可決し

た。次回の理事会に総会の議案に上程する「会費規程」、「入会及び退会に関する規程」を上程することとした。

#### 第4号議案『総会の議長、副議長の選任について』

総務部長より議案について説明があった。6月22日開催予定の通常総会の議長・副議長候補について検討し、議長に阿部理事、副議長に市川理事とする提案を承認可決した。

#### 第5号議案『講師派遣依頼について(宮城県)』

総務部長より議案について説明があった。宮城県からの講演依頼(平成26年6月21日)について、山口登一郎会員の講師派遣を承認可決した。

#### 第6号議案『第23回世界スカウトジャンボリー(2015年開催)について』

総務部長より議案について説明があった。審議の結果、平成27年7月28日(火)～8月8日(土)に開催予定の標記大会において、ブース協力(催し物の実施)することを承認可決した。

#### 第7号議案『日整全国少年柔道大会・日整全国少年柔道形競技会・日整全国柔道大会について』

総務部長より議案について説明があった。審議の結果、大会役員について、当日の警備についておよび案内状などについて提案があり、原案を承認可決した。

#### 第8号議案『全国少年柔道大会(5月5日開催)について』

総務部長より議案について説明があった。毎年5月5日に講道館において開催されている「全国少年柔道大会」において、「日整全国少年柔道形競技会」入賞チームを日整から派遣し、演武させることについて承認可決した。

#### 第9号議案『柔道整復学継続研究事業について』

学術部長より議案について説明があった。審議の結果、「整骨範」の翻訳を進めることを承認可決した。

## 第10号議案『各地区(ブロック)における国際部報告会開催について』

国際部長より議案について説明があった。審議の結果、日整学術大会における国際部報告会の実施について、まず、平成26年度は一部地区において実施することを承認可決した。来年度以降については順次開催すべく、再度検討することとした。

### 〈報告事項〉

- ① 日整会員年度末各種集計資料
- ② 柔道整復師免許証の様式変更について
- ③ 柔道整復師卒後臨床研修指導者のための技術講習会実施に係る協力依頼について
- ④ 第10回国民医療推薦協議会について
- ⑤ 平成26年 春の褒章・叙勲受章者調
- ⑥ 理事会議事録
- ⑦ クールビズについて
- ⑧ 予算管理月報【途中段階】(3月分)
- ⑨ 会計決算システムの確立について
- ⑩ 経理部会報告書
- ⑪ 日整主催ブロック学会 介護対策課 担当表
- ⑫ 2014・柔道整復師と介護保険について
- ⑬ 全国保険部長会議の開催について
- ⑭ 学術・生涯学習講習会 特別講演について
- ⑮ 平成27年度 学術大会 東北と四国の日程について
- ⑯ JICA 事業日本研修開講式等について
- ⑰ 国際部報告事項
- ⑱ 各部からの報告

### 〈平成26年度 第3回理事会〉

開催場所	日本柔整会館 2階理事会室
開催日時	平成26年6月4日(水)午後2時～午後3時58分
理事現在数及び定数	現在数19名 定数10名
出席者	理事19名中19名出席 工藤、木山、萩原(正)、豊嶋、佐藤、吉田、松岡、永田、萩原(隆)、阿部、市川、山崎、伊藤(宣)、三橋、高崎、大西、原、伊藤(述)、富永
司会	豊嶋総務部長
開会の辞	木山副会長
議長	工藤会長
閉会の辞	萩原副会長

### 〈会議の概要〉

冒頭で議長が司会進行を総務部長に依頼し会議が開始された。最初に定足数を確認し、次に、議事録署名人は工藤鉄男会長と内山富之監事であることを確認した。

### 〈議題〉

#### 第1号議案『通常総会開催通知について』

総務部長より議案について説明があった。6月22日開催予定の通常総会開催日時・場所・議題等を審議し、原案の通常総会開催通知を承認可決した。

#### 第2号議案『平成25年度事業報告書(案)について』

総務部長より議案について概要説明があり、審議の結果、原案を承認可決した。

#### 第3号議案『平成25年度決算報告書(案)について』

経理部長より平成25年度の貸借対照表および損益計算書ならびに財産目録等の決算書類と予備費の使用について説明があり、審議の結果、いずれも承認可決した。

#### 第4号議案『平成25年度監査報告について』

佐藤理事より平成25年度の監査を行い適正であったとの報告があった。

#### 第5号議案『平成26年度会費免除者について』

総務部長より議案について説明があった。審議の結果、終身免除(61名)、所得等に関する免

除（35名）、および東日本大震災被災会員の会費免除6名（福島県）について承認可決した。

#### 第6号議案『定款(改正案)について』

総務部長より議案について説明があった。「会長及び副会長の選定及び解職」を、理事会権限から総会権限とする提案を含め、役員を選任方法などを変更した改正案を、審議の結果、承認可決した。

#### 第7号議案『会費規程(改正案)について』

総務部長より議案について説明があった。審議の結果、再入会の場合、退会時に未納の会費があるときは、当該未納分を支払わなければならないとする趣旨の改正案を承認可決した。

#### 第8号議案『入会及び退会に関する規程(改正案)について』

総務部長より議案について説明があった。審議の結果、第7号議案を受けて再入会についての条項を追加した改正案を承認可決した。

#### 第9号議案『補欠監事の選任について』

総務部長より議案について説明があった。立候補届受付期日の5月29日までに立候補を届け出た1名の候補者の中から監事を選任する方法について諮り、「挙手による選任」の方法をとることを確認した。

### 〈報告事項〉

- ① DJATについて
- ② 学術講習会のタイムスケジュールについて
- ③ 各部からの報告

### 〈平成26年度 第4回理事会〉

開催場所	日本柔整会館2階理事会室
開催日時	平成26年6月21日(土)午後2時～午後3時35分
理事現在数及び定数	現在数19名 定数10名
出席者	理事19名中18名出席 工藤、木山、萩原(正)、豊嶋、佐藤、松岡、永田、萩原(隆)、阿部、市川、山崎、伊藤(宣)、三橋、高崎、大西、原、伊藤(述)、富永
理事外の出席者	内山監事
司会	豊嶋総務部長
開会の辞	木山副会長
議長	工藤会長
閉会の辞	萩原副会長

### 〈会議の概要〉

冒頭で議長が司会進行を総務部長に依頼し会議が開始された。最初に定足数を確認し、次に、議事録署名人は工藤鉄男会長と内山富之監事であることを確認した。

### 〈議 題〉

#### 第1号議案『通常総会の質問事項について』

総務部長より議案について説明があった。通常総会質問事項締切日の6月16日までに質問届出がなかったことの確認と、当日の質問は例年どおり、議長判断で緊急性を要する場合に受け付けることとする提案を、承認可決した。

#### 第2号議案『役員選任規程について』

総務部長より議案について説明があった。通常総会へ上程する定款(改正案)内容に伴った、役員を選任方法などを変更した役員選任規程改正案について、審議の結果、承認可決した。

#### 第3号議案『通常総会の傍聴について』

総務部長より議案について説明があった。傍聴については今までどおり、通常総会開会後に議長が傍聴許可を出す方法をとるとする提案を、承認可決した。

#### 第4号議案『事業報告等に係る内閣府への提出書類について』

総務部長より議案について説明があった。審議の結果、6月22日の通常総会において平成25

年度事業報告および決算報告が議決されたあと、原案の「事業報告等に係る提出書」を内閣府へ提出することを、承認可決した。

#### 第5号議案『日整柔道大会パンフレット作成業者について』

総務部長より議案について説明があった。審議の結果、10月13日（月・祝）開催予定の日整柔道大会パンフレット作成業者は、提案のとおり承認可決した。

#### 第6号議案『専門的活動の視察について』

国際部長より議案について説明があった。日整来館予定のモンゴル国文化・スポーツ・観光省スポーツ訓練センター長等が7月17日（木）に来日した際の対応について、承認可決した。なお、基本的内容については、改めて国際部を中心に確認の上、報告していくこととした。

#### 第7号議案『その他（全国柔道整復師連合会との意見交換会について）』

工藤会長より日整役員と全国柔道整復師連合

会の田中威勢夫会長等との意見交換会の場を設けたいとの提案があり、審議の結果、承認可決された。

#### 第8号議案『その他（通常総会各部報告について）』

総務部長より6月22日通常総会における各部報告事項内容の確認があり、総務部・保険部・学術部・広報部・国際部から報告が行われることを、承認可決した。

#### 〈報告事項〉

- ① 日整柔道大会の抽選について
- ② 一般財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会顧問会議のメンバー就任委嘱状について
- ③ 各部からの報告

### 訃報

日整理事・日整保険部長、公益社団法人神奈川県柔道整復師会会長  
吉田充孝先生 享年66(満65歳)が逝去されました

日整総務部

平成26年7月7日(月)午前0時37分、かねてから病氣療養中の公益社団法人神奈川県柔道整復師会会長の吉田充孝先生 享年66(満65歳)がご逝去されました。

御葬儀は、平成26年7月12日(土)午前11時から神奈川県相模原市相模原市宮斎場において、施主吉田理氏(ご子息)、喪主吉田規代様(ご令室)により、しめやかに執り行われました。

通夜、告別式の会場では政界・官界・業界をはじめ、多くの参列者が、生前の吉田先生のお人柄を偲び、最期の別れを惜しみました。

故吉田会長は、我が公益社団法人日本柔道整復師会におきましても、代議員、保険部員、保険部理事などを歴任され、平成25年6月から、公益社団法人日本柔道整復師会保険部長として保険業務のための対外折衝などに卓越した手腕を発揮され、これからの活躍が大いに期待されていきました。この度の悲報は、大変苦労をされて公益法人に移行された神奈川県柔道整復師会はもちろんのこと、日整のみならず柔道整復師業界にとっても大きな損失であります。

先生の生前のご功績に感謝と敬意の意を表し謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



# 本流

会長 工藤 鉄男

## §4. 柔道整復師の発すべき言葉

活字離れが進み、書籍ではなくデジタル動画が好まれる今の日本において、現代のデジタル文字情報最先端ともいべきインターネット上では、どういう訳か「2チャンネル」や「ツイート（つぶやき）」などで、名前も素性も分からない人の発した「言葉」が何の躊躇いもなく配信され続けています。しかし、それらは単に自分の素性が明かされないことを逆手にとって、身勝手に言いたい放題の言葉を発する「戯言」でしかありません。言葉の責任を問われたくないからこそ名を明かさないので。そうした戯言をもとに、資格や制度に関することを話題にして社会が揺れ動かされてしまうのはとてもおかしいことです。しかし、大手マスコミのテレビ・新聞では、今やこうした「つぶやき」をニュースの画面に入れ込み、あたかも市民権を得た公の声であるかのように取り上げ、ケジメのつけられない「言った者勝ち社会」が加速してしまっています。

振り返れば、歴史上の厳しい階級社会において、言いたいことが抑圧され、理不尽な処分を逃れるためには、そうした無記名者の戯言にも意味が生じた時代があったのかもしれませんが。また、礼儀作法やさまざまな制度で厳しく管理され続けてきた日本社会への反動という意味合いもわずかに残っているのかもしれませんが。しかし、現代の日本という開かれたこの国において、名を明かさずに発せられる戯言には、もはやそれ以上に建設的な意義はないでしょう。誰

もが見聞きする公の場で発せられる言葉には相応の重みがあり、だからこそ、人びとは責任の伴う者の言葉から真実を見出すのです。逆に裏付けのない戯言に真を見る人は少ないだろうと信じています。

本来、言葉に関わる決め事というのは、どの国においても、それぞれの国が永く受け継いできたその国の文化の最も中心にあるものです。我が日本における言葉の使い方へのケジメは、世界でも例のない敬語表現の多さや挨拶に関する作法に始まり、手紙の書札例、文芸での短歌や俳句では文字の数までも定めて削り込み、その中から絞り出す表現は、音やリズムをも美意識として追求するところまで言葉の文化を昇華させてきました。奈良時代に成立した『万葉集』には、当時の文化人であった歌人だけでなく、辺境防備にあたった防人やその家族の歌がたくさん収められています。それは、その時代を生きた人びとの中に、日々の生活の中でも言葉をきちんと正しく使い、周囲の物事からしっかりと真実を見出そうとする誠実さと美意識を持った人がいた証しであり、そうした人たちが詠む歌が、独自文化を守るという社会（国家）の中でも認められて『万葉集』に収められた訳です。洋の東西を問わず、現代にまで遺る詩歌は、歴史的な意味合いだけでなく、その国の人たちの心の財産となっています。それは、その時代に生きた作者の心から絞り出された美意識と思いが言葉に乗り、時代を越えて人から人へと繋げ

られているからに他なりません。

我われ柔道整復師が発する言葉も、治療の現場で痛みを苦しむ人びとの心を癒やし、我われが関わることで必ずやその痛みから解放し、本来活躍できる元の場合へ元気に復帰させられるだけの施術経験や手技の裏付けによって、患者それぞれの夢や希望へと直結できるものでなければなりません。それが国家資格を持つ者の責任だと思えます。そして、私たち柔道整復師の口から“言葉”が発せられたとき、もはやそれは我われだけの個人的なものではなく、それは患者さんの問題であると同時に、地域で困った人びとを救うという「思い」や「仕組み」を背負ったものとなり、最大限に広げれば、国が国民をどう扱うのか、地域がそこに住む人をどう思いやるのかといったこの国の在り方そのものの問題ともなります。つまり、患者の意志やその家族に必要なない身勝手な理屈や利益論が優先される言葉など、患者にとっても我われ施術者にとっても何の意味もないものとなるのです。裏返せば、我われは患者のために、患者が欲するところに手を当て、責任のある言葉を使わなければ、治療家として存在すべき価値を、言葉を重視するこの国の中で認められることはないということです。

今、日本は「人口減少」という国力衰退ともいべき最上級の問題の上に、生産者である若者と支えられる高齢者のバランスが大きく崩れた「高齢化」という問題、更にはそうした国民の生活を安定的に維持するための経済的な「税徴収・再分配」の仕組みづくりまでも含めた3階建ての社会保障改革が同時に進められています。

しかし、我が国が何千年もかかって積み上げてきた固有の文化や決まり事は、戦後の占領政策の元で徐々に浸食され破壊され続けてきました。先に述べた言葉だけでなく服装やものの考え方に至るまで、この国独自の本来のカタチは今や崩壊寸前とさえ言えます。医療についても、西洋医学以外はなかなか正しく評価はされません。古来から日本の伝統医療として永く受け継いできた我が柔道整復は、戦後「医業」ではなく「医業類似行為」という枠に封じ込められ、さまざまな制約を受け続けています。しかし、モノの見方やそこへ至る考え方は、場所や時代

によってもどんどん変わっていくのが常です。我われへの現在の不当な評価をそのまま放置せず、未来に向けて必ず正しい評価を得られるように我われ自身が一步でも前へ進め、変えねばなりません。海外の異文化をも呑み込みながら進化し続けてきた日本は、停滞したこの四半世紀に本来の国の軸を見失いつつあります。揺れ動く基準に惑わされず、我われも本来の軸を見つめ直し、責任ある自分たちの言葉で正しく人びとに伝える努力をしなければなりません。

今、国が進めている改革が、もしも医療費を単純に安価に抑えることを優先させようというのであれば、柔道整復はほかよりも安価であることを声高に誇示すべきですし、制度運用上のモラルを問うのなら、現行制度で改善すべき点にこそスポットを当て、改善すべき裏付けとなるデータを明示すべきです。既存の仕組みに矛盾があるのなら、見事に管理可能な仕組みへと修正するために、何が不足し何が余計なのか、最終的に何をすべきなのかを決定権のあるところでしっかりと回答を出せるようにする必要があります。そして今、日整執行部はそれを関係各省庁に対して全力で働き掛けています。悪戯に医師との衝突へと視点を向ける人たちもおりますが、衝突や争いからは何も生まれません。国が進める改革から、我われ柔道整復業界の改革は少しもズレることなく、これまでどおり「患者さんのため・国民のため・地域住民のため」を貫きます。この社会保障改革の中で、我われに手伝えることが少なからず必ずあります。例えば、地域包括ケアという在宅・地域性重視という新しいシステムづくりの流れについても、柔整の独自性を損なうことなく、むしろそれを強みとして、地域の人たちのために尽くすことを更に進めるには絶好の機会なのです。そこでなら医師との連携が更に進む可能性は大いにあります。しかし、その実現のためには、先ず我われ自身のことを外部の人たちに正しく伝え、もっと知っていただき、信頼していただく必要があります。今後は個々の無責任な“思いつき”や“つぶやき”ではなく、柔道整復師自身が発する“責任ある言葉”で、それぞれの地域に対して、広く、正しく我われを理解してもらえるように、我われの業界全体の統一された情報を積極的に発信していく必要があるのです。

# 各国の国づくり・人づくりに

## NHKワールドで放送決定！！

日本伝統治療（柔道整復術）指導者育成・普及プロジェクト  
2014年度 第1回 指導者候補日本研修閉講式



公益社団法人日本柔道整復師会（以下、日整）は、2014年度日本伝統治療（柔道整復術）指導者育成・普及プロジェクト、第1回日本研修閉講式と懇親会を平成26年8月5日（火）、東京ドームホテルにおいて関係各位の来賓を迎え開催した。

本プロジェクトは、2011年9月からの5年計画で、プロジェクト終了後もモンゴル人のみで柔道整復術普及活動が行われる体制づくりを目的として、モンゴル人指導者候補の育成を行っている。この日本研修は指導者候補育成活動の一つで、年2回実施している。

研修を終えたのは、オユンバートル・ダリルチュルン准医師、ムンフバートル・ボロルチメグ准医師、エンフタイワン・トゥブシンバヤル准医師の3名。研修生は、研修先である日整会員の接骨院、整骨院およびこの事業に理解を示していただいている整形外科の病院や医院で2ヶ月間にわたり骨折や脱臼、捻挫、靭帯損傷の治療法、介護予防と整形外科的疾患などについて学んだ。閉講式では研修生が研修成果を学習意欲に満ちた流暢な日本語でスライドを用いて報告した。3名の准医師には、独立行政法人国際協力機構（JICA）東京国際センターの佐々木十一郎所長と工藤鉄男日整会長より受講証明書が授与され、称賛の拍手が送られた。

引き続き懇親会が開かれ、閉講式での3名の熱心な報告と日整の活動に対して、多数の来賓から深い感銘を受けた旨と祝意が示された。

## 「人に対する思いやり、感謝の気持ち」



日本伝統治療（柔道整復術）指導者育成・普及プロジェクトの事業は、2006年から外務省のODAとしてJICAの皆様大変お世話になって推進されております。本日は大変お忙しいところ、逢沢一郎衆議院議員、JICA東京国際センターの佐々木十一郎所長をはじめ多くの方々のご臨席をいただきまして、心からお礼を申し上げます。このプロジェクトは、日本の伝統的医療である柔道整復術を途上国で何とか役立てる方法がないかというところから始まりました。日本の江戸時代には接骨術というものが日本国の健康保持、社会福祉の分野で活用されてきましたが、その精神は何かといいますと「人の喜びを自分の喜びとし医科の精神をしっかりと組み込んでいる』『柔道』という精神から来ているものだと思います。嘉納治五郎先生の精神柔道とは「精力善用」「自他共栄」ですが、これは日本国、世界に通用する哲学ではないかと思えます。人の性格は中からは変えられませんが、柔道整復術は、我われの手当を通しての人格づくり、これにも貢献できる技術だと思っております。人格を学ぶには人との出会いが大切です。ご来賓の皆様方と知り合い多くのご指導をいただきながら、人格形成に一生懸命頑張らせていただいております。

私たちは学校教育で子供たちをしっかりと教

育して人格形成して柔道整復師としての人間性を勉強し、国民のため、ひいては国際交流のプロジェクトにも生かせるような人材を送っていただけるように願っています。

本日まで出席いただいております共同通信社の古賀尚文相談役には柔道整復術の人づくり、また教育に対してアドバイスいただいております。心から感謝申し上げます。人格を学ぶためには人との出会いが大切だと申しましたが、柔道整復師としてやらなければならないことは、人に対する思いやり、感謝の気持ち、そういう心を持った人をしっかり育てることだと思います。その一つとして今回、3名の研修生に勉強に来ていただきました。この3名の研修生にはこれからモンゴルに帰ってこの日本で学んだこの無血で手当ができる、この柔道整復術をモンゴル国でお医者さんにかかれぬ人々に提供していきますが、今回の研修で患部に触って心のコミュニケーションを取れるところまでしっかりと勉強できたと報告をいただいております。そのような思いを今日ご臨席いただいた方々に研修成果報告をしていただきたいと思います。

研修生には日本で生まれたこの柔道整復術の技術をしっかりとモンゴルの国民のために役立てるようにしていただきたい。将来皆さんが勉強して頑張ったことを後世の人たちに、モンゴル国の発展に寄与したという歴史をつくっていただきたいと思っております。そのためにここに集まっているご来賓の皆様と共に日整は全身全霊でご協力することをお約束いたします。関係機関との連携を更に深め、世界で類を見ない骨折・脱臼等の徒手治療技術である柔道整復術の海外普及を通し、日本の国益に資するとともに、途上国をはじめとする各国の国づくり・人づくりに積極的に貢献してまいりたいと思っております。ご来賓の皆様にはこの事業達成のために、より一層のご支援とご指導を切にお願い申し上げます。



閉講式は午後3時から国際部の本間琢英部員の司会で始まり、木山時雨副会長の開式の辞により厳かに進んだ。挨拶に立った工藤会長はご来賓に対して感謝の意を表した後「柔道整復師界としてやらなければならないことは、人に対する思いやり、感謝の気持ち、そういう心を持った柔道整復師をしっかり育てることだと思います。その一つとして今回、3名の研修生に勉強に来ていただきました。研修生には日本で生まれたこの柔道整復術の技術と心をしっかりとし、モンゴルの国民のために役立てるようにしていただきたい」と事業達成のための願いを述べた。(要旨別掲)。

### モンゴルでの体験、世界各地にも



▲挨拶する逢沢先生

来賓の祝辞として逢沢一郎衆議院議員は、「日本・モンゴル議員連盟の副会長を仰せ仕かっています。第1回日本研修閉講式の盛会をお祝い申し上げます。優秀な3名の准医師をモンゴルから日本へお招きすることができました。貴重な実技トレーニング訓練を受け定められたカリキュラムをしっかりと受講され、今日立派に閉講式の運びとなりました。長年、日整の先生方はモンゴルにおきまして柔道整復術の普及発展にしっかりと働いていただける人材育成の養成をしようと、高い目標を掲げられ地道な活動努力をずっと続けていただきました。

あるとき工藤会長から実は東京都の先生方を中心にモンゴルでこんな事業を続けているのだと、そんなお話を聞かせていただきました。先ほど工藤会長は“感謝の気持ちを大切に。感謝の気持ちを持つ人材をつくる”のだとそのようなことにも触れていましたが、そのような考え方に基づいて、モンゴルにおける人づくりそして技術を身に付けていただくそのことを通じてモンゴルと日本の友好国関係をぐっと成長発展させていこうと努力を重ねていただいたわけですね。これは日整の先生方を政府としても日本国としても適切な形でご支援を申し上げなければならない。また一緒に頑張るそのような形が必要なのではないかと咄嗟にそのように思いました。間髪入れず、日整の先生方はずっと日本伝統治療(柔道整復術)指導者育成・普及プロジェクトの活動を続けています。モンゴルの方々から大変感謝をされています。モンゴルはお国柄対人口あたり大変怪我をしやすいため、治療や学術の面で成果を上げています。このようなことを外務省、JICAの皆様にご報告をさせていただいたわけですが、そのことを受けてよい形で日整の応援をさせていただいています。また外務省もJICAも一緒にスクラムを組んで活動することができたことを私も嬉しく、そういった立場でお手伝いできたことを大変誇りに思っているところであります。世界各地にはそういったニーズの所がたくさんございます。モンゴルでの意味貴重な体験、成功をモンゴルにとどまることなくそういった所に展開していただきたい。工藤会長をはじめ先生

方のご尽力、そしてご理解ご支援をいただいている全ての方々に敬意と感謝を申し上げます」と述べ、今後の活動に期待を込められた。

## NHKワールドを通じて世界へ



▲挨拶する佐々木所長

続いて来賓の挨拶に立ったJICAの佐々木所長は、3名の准医師にねぎらいの言葉をかけた後「日整の皆様方、丁寧にご指導いただきました研修先の先生方におかれましては研修

生に対して情熱を傾けご指導やご支援をいただき本当にありがとうございました。本プロジェクトにおきましては、プロジェクト終了後もモンゴル人のみで柔道整復術普及活動が行われる体制づくりを目的として、モンゴル人指導者候補の育成を行っているという目標の達成に大きく寄与する重要な部分と考えております。3名の研修生の皆様、今回日本で学ばれたことを帰国後、更に復習して研鑽に励むとともにできるだけ多くの同僚や後輩にこの研修の成果をお伝え願ひ、モンゴルにおける柔道整復術の指導者として大成していただきたいと思ひます。また帰国後活動の成果をぜひ知らせてください。

昨年9月に日本、モンゴルの両首相の間で合意されました『戦略的パートナーシップのための日本・モンゴル中期行動計画』ではモンゴル国の優先分野開発の人材育成というものが課題とされまして、その優先課題の中に産業人材の育成と医療人材の育成のこの2つが掲げられました。JICAではこの両国政府間の戦略的パートナーシップにのっとり日本国内のさまざまな機関のご支援ご協力をいただきながら技術協力、無償有償資金協力、ボランティア派遣などの協力事業を現在行っております。中でも草の根技術協力の事業につきましては通常の政府の間での合意事項に基づいているのではなく、日本国の団体からの発意に基づいて事業を実施しております。その意味でこの協力はまさに日整からのご提案があって初めて成立したものでございます。日整のモンゴルに対する協力の熱意に心から敬意と感謝を申し上げます。このような協力が日本とモンゴルの更なる親善関係の促進に

繋がることを確信しております。今回このプロジェクトを全世界に情報を発信するサービスを行っているNHKワールドが取材することになりました。3名の研修生の研修の様子も取材されておりますし、この後、日整の専門家の皆さまがモンゴルで指導する活動の様子も取材されます。これがNHKワールドを通じて世界の視聴者に届けられることになりました。我われもこの事業を通じて日本の伝統医療の文化またそれを更に世界に広げている日整のこの活動が広報という形で広められることに対して大変嬉しく思っております」と述べ、日本とモンゴルの更なる親善関係に期待を込められた。

## 国際部報告



▲報告する萩原国際部長

萩原隆国際部長から今回の日本研修と活動について次のように報告があった。平成26年2月11日、モンゴル国立医科学大学において、モンゴル国保健省アマ

ルサナ副大臣はじめ多くの行政関係者を迎えた中、当大学と日整の間に新たに柔道整復術の普及に関する協定書を締結した。調印式には工藤会長はじめ担当副会長他4名が出席した。今後は新協定を基に交流が行われる。

2月17日、3月4日、2013年度第2回モンゴル派遣が行われ、ツブツブ県と看護大学の講習会を実施。3月1日には、ウランバートルJICA日本センターにおいて恒例の市民公開講座を開催。定員200名の会場は溢れんばかりの参加者となり成功裏となった。

5月1日には長年の懸案であった柔道整復術モンゴル語テキスト（約400ページ）が完成。現地でも評判となり地方の医療従事者を中心に病院、教育機関に無料配布した。6月11日から7月5日まで約2ヶ月間、第1回日本研修を行い今回は特に診断力が身に付くように重点を置き研修した。6月24日に河野俊嗣宮崎県知事、6月26日に黒木健二日向市市長へ表敬訪問を行い、本研修の目的ならびに成果について報告を行った。研修生は回を追うごとに実力の向上が目覚ましく、日本で修得した知識、技術をモン

ゴルに帰ってからもさまざまなところで役立  
ているとともに、他の医療関係者にも伝えてお  
り、プロジェクト本来の目標を徐々に達成しつ  
つあると感じている旨の報告があった。

## 研修成果報告

准医師

オウンバートル・ダリルチュルン (3回目)

開放性コーレス骨折を体験

【要旨】



私は、宮崎県の今村整骨院で疼痛の評価と手技療法(操体法)を学び21種の操法を修得しました。実際に触診して分かるようになりました。速攻効果があるので驚きました。奈須接骨院では、骨折、脱臼の整復・固定の復習と四肢関節に対する評価と処置を身に付けました。モンゴルでは落馬すると鎖骨骨折する人が多いので大いに用いたい。また、転倒予防教室にも参加しました。モンゴルは日本と同じく高齢化社会になるので重要だと思いました。埼玉県栗原整形外科では、問診、検査の方法、整復、固定の助手、さまざまな骨折の症例を学びました。なかでも初めて見た開放性コーレス骨折は治療経過を毎日記録し患者さんが何に困っているか分かりました。今回の研修では触診で指の感覚がとても大切なこと。患者さんと多くコミュニケーションをとることで、患者さんの訴えを理解できること。症例の経過を記録し、治療の流れと症状の変化を理解したこと。骨折の整復技術で自分に何が不足しているかということが分かりました。

次回来たときにはもっとスキルアップできるようにモンゴルに帰っても頑張ります。皆さん



の熱心なご指導をありがとうございました。

准医師

ムンフバートル・ボロルチメグ (2回目)

柔道整復術モンゴル語テキストで  
学びが深まる

【要旨】



宮崎県の今村整骨院では、ダリルチュルンさんと同じく疼痛の評価と手技療法(操体法)を学び運動痛や圧痛の消去ができるので、骨折・脱臼・捻挫の後療に有効。モンゴルでも活用できると思い毎日練習しました。やわらぎ接骨院では腰や膝の検査法、骨折の整復固定法の指導をしていただきました。完成した柔道整復術モンゴル語テキストを確認しながらできたので理解を深めやすく、復習も容易にできました。埼玉県の佐藤整形外科では、モンゴルではできなかった整形外科のドクターの診断法を学ぶことができ、それぞれの疾患の特徴を知ることができました。コーレス骨折の患者さんの整復を先生が一人で行いました。モンゴルでもこのような状況が出てくると思うので大変勉強になりました。スポーツ傷害の診断法も学びました。モンゴルに帰っても学んだことをしっかり復習をして再び日本に来るときまでに身に付けておきたいです。2ヶ月間大変お世話になりました。感謝いたします。

准医師

エンフタイワン・トゥブシンバル (4回目)

運動療法、診察法にも力を入れて  
いきたい

【要旨】



富山県のサカイ接骨院では問診、視診、テスト法などの診断の仕方を学びました。接骨院デイサービスでは、高齢者の機能訓練、運動療法を学びました。モンゴルでも高齢者社会となりこのようなことは重要だと思いました。柔道整復術基礎研究、

柔道整復術多施設臨床試験を見学させていただきました。富山大学大学院柔道整復学講座では、西条寿夫先生はじめ大学院の先生方は毎週火曜日、土曜日に実験報告を行い、怪我の予防についてのディスカッションに参加させていただきました。東京都の田淵整形外科では、足関節、首、肩、肘、膝、腰椎の診察法と足関節脱臼骨折の固定を学びました。富山県の日整公認サクラ接骨研究会、北信越学術大会石川大会、花田学園スポーツトレーナー研究会、日本柔道整復専門学校同窓会研究会に参加させていただきました。今まで主に骨折、脱臼の整復や固定法ばかり学んできましたが、運動療法や診察法が大事だと思いを力を入れていきたいと思えます。2ヶ月間熱心にご指導いただきありがとうございました。

## 受講証明書を受与

研修成果を報告後、3名の准医師に独立行政法人国際協力機構（JICA）東京国際センターの佐々木十一郎所長と工藤日整会長より受講証明書が授与され、称賛の拍手が送られた。研修生代表から謝辞があった後、萩原正和日整副会長の閉式の辞により厳粛の内に閉講式は終了した。



## 懇親会

# 日整の活動がNHKワールドの番組で世界に配信 共同通信社も全力を挙げて新たな協力へ

## 信頼関係、相互理解が重要な基盤



▲挨拶するボロルチメグ一等書記官

引き続き多数の来賓を迎え懇親会が開催され、来賓の挨拶に立った駐日モンゴル国大使館のスフバートル・ボロルチメグ一等書記官は3名の准医師にお祝いの言葉を述べた後「日本研修で研修生が

多くのことを学ばせていただいたことに日本政府、JICA、日整の関係者の皆様に感謝を申し上げます。本年は日本とモンゴルは国交樹立42年、また文化交流協定を結んで40周年の記念すべき年です。近年、文化交流、人的交流が広がりを見せ、経済交流も拡大発展しているところです。先月、ツァヒヤ・エルベグドルジ・モン

ゴル大統領が日本に実務訪問し、モンゴル側から130人に及ぶ企業の皆様が日本を訪問いたしました。日本側からもおよそ150社が参加し、約500人でビジネス・フォーラムを開催しました。首脳会談も行い、安倍晋三内閣総理大臣が両国の関係を活力あるものにしたいと意思表示してくださいました。両国の経済分野をはじめ各分野が一層強化され、両国関係の緊密化が進





むことを期待します。

各分野のもっとも欠かせない重要な基盤とは、人と人との間を交流する信頼関係、相互理解です。この基盤があってこそ協力関係が順調に進み、良い交流関係が築けます。皆さんがされている指導者育成・普及プロジェクトのこの大事な基盤をより強化をし、更に各分野の協力関係がより発展していくことを願います。皆様の更なるご活躍と活動の成果が上がることを祈念いたします」と、友好関係の強化を願った。

## シーズを育てて ニーズに対応する活動を

続いて来賓の挨拶に立った外務省アジア大洋州局中国・モンゴル第1課の藁谷栄上席専門官は、関係各位に日ごろの感謝を述べた後「研修生の発表で問診につきまして、皆さん



▲挨拶する藁谷上席専門官

が興味深く熱心に技術を習得しようと、特に手を当てて診断しようとすることを注目したことは、研修の成果があり、指導者育成・普及のポイントではないかと思いました。官邸のホームページに健康医療戦略と出ていますが、これは柔道整復術がポイントになるのではないかと思います。モンゴルでは地方で高度な医療が受けられない人たちに対してどうやって医療行為をするかというニーズ。それに対して日本にはその技術があってその技術を使うことができるような人を育てて広げていきたいと思いますというニーズ。これを結び付けるということはその戦略に合っていると思います。これからもシーズを育ててニーズに対応する活動を皆さんと一緒に支援していきたいと思います」と述べた。

## ミャンマーでもこの 素晴らしい活動を

次に来賓の挨拶に立った共同通信社の古賀尚文相談役は、プロジェクトに対して関係各位に敬意とお祝いの言葉を述べた後「研修生



▲挨拶する共同通信社  
古賀相談役

には帰られてから本当の研修と指導が始まります。日本とモンゴルの架け橋となっただくためにも頑張っていたきたい。昨年このプロジェクトの閉講式でも挨拶をさせていただきましたが活動

内容、研修成果報告を聞かせていただいて私はもう日整に対してメロメロだと申し上げました。その結果でしょうか、実は日整の関連団体の理事にまでさせていただいております。本日は更に皆さんのお話を聞いてメロメロを通り過ぎてビリビリとしびれているとよいかと思います。このしびれた状態を維持するためには共同通信社としては何か具体的にしなければならないと思っております。そこでご提案があるのですが、我われ共同通信社は昨年1月にミャンマーに西側諸国としてはアメリカAP通信社と共同通信社、テレビはNHKの3社の支局開設が認可されました。更にはミャンマー情報省が出しております国営の新聞、英字新聞ですけれどこれのお手伝いをして7月からは情報省と民間、共同通信社を含めた新たな新聞を発行することになりました。「ザ・ニュー・ライト・オブ・ミャンマー」という新聞を出しております。そうしたミャンマーとの関係からこのモンゴルとの5年計画のプロジェクト終了後はミャンマーでもやっていただきたいと思っております。そのためには共同通信社も全力を挙げて日整の活動を応援したいと思っております」と述べられ、海外協力活動のますますの発展と新たな活動の支援協力の意向を示した。





▲乾杯挨拶する楠崎企画  
業務室長

乾杯の挨拶に立った産経新聞東京本社の楠崎正人企画業務室長は研修生にお祝いの言葉を述べた後「研修生の報告を聞きまして真摯に研修に取り組んでいることが伝わってきました。研修生の向上心を学ばなければいけないと思っております。今後ともモンゴルと日本の架け橋になって頑張っていたきたい。工藤会長が人づくりにも貢献するとおっしゃっていました。人との出会いを大切にして更に繋がりを深めていくことを期待します」と述べられ、モンゴル国と日本の友好関係の更なる発展を祈念して、声高らかに乾杯した。



▲報告する根来国際部員

続いて根来信也国際部員より、全国の日整主催学術大会で「草原に架かる虹を追って」と題して行っている日整のモンゴルでの活動記録報告がスライドで紹介された。



▲挨拶する櫻井理事長

次に、このプロジェクトに大変お世話になっている来賓より挨拶があった。

はじめに挨拶に立った学校法人花田学園理事長・東京有明医療大学理事長の櫻井康司先生は研修生を受け入れてくださった先生方に感

謝を述べた後「研修生の報告でモンゴルでも高齢者が急速に増え予防医学が必要だとありましたが、このプロジェクトで指導者を育成したことが役に立つのではないかと思います。この優れた柔道整復術をモンゴルや他の国へ発信できる技術者、そして考え方、技術と一緒に心を置いて来るといふ柔道整復師としてのアイデンティティ、もっともっといろんな国と交流を持って日本の柔道整復という世界を理解していただき柔道整復という世界をバックアップできる展開ができればと願っております」と述べた。



▲挨拶する栗原医院長

続いて挨拶に立った栗原整形外科の栗原友介院長は、この活動に協力させていただいてから5年目になります。立派な事業に参加させていただき光栄です。

私は整形外科と看板を揚げておりますが本当は整形外科の前に栗原ほねつぎ整形外科と入れたいくらい柔道整復師に思い入れがありまして、このようにして柔道整復師の先生方と縁を持たせているのは光栄とするところです。整形外科は手術が主流になってきていますが、そうすると保存療法の発展が止まってしまう。そこでたとえばモンゴルに行ったとき、はたして何が役に立つのかという手術をしないで整復する保存療法が得意な柔道整復師が役に立つのです。私が柔道整復師と一緒に骨折の臨床の場において思うのは、手術をするのであるならば、うまくするのが大事であるし、ギブスを巻くのであればうまく巻くことが大事です。圧迫骨折はうまくギブスを巻くとその場で痛みがとれます。今脊椎の圧迫骨折のギブス固定にこだわって技術の研鑽をしているところです。患者さんと一対一でコミュニケーションを取りながら治していくということが柔道整復師の真骨頂ではないかと思います。このプロジェクトはそのような意味で保存療法が発展していき素晴らしいことだと思います。これからまだまだ協力させていただきたく思いますし、協力させていただくことによって我われの技術も上がるを感じています」と柔道整復術の素晴らしさを述べた。

次に挨拶に立った田  
淵整形外科クリニック  
の田淵健一院長は「先  
ほどモンゴルでの活動  
記録報告のスライドを  
拝見しまして感動しま  
した。研修生を受け入  
れるきっかけは本間先



▲挨拶する田淵院長

生よりご依頼があったからです。私のクリニッ  
クにはいつも10人から12人くらい柔道整復師が  
いるので研修生にはこの柔道整復術の得意な柔  
道整復師の方が指導してくださいました。ビッ  
クリしたのは、研修生は日本語が上手で、理解  
力も優れており大変熱心なことです。この活動  
の更なる発展を祈念いたします」とこの活動の  
感動を述べられた。

### モンゴルの未来を切り開く番組作り



▲挨拶する恒川取締役

NHKワールドの番  
組制作会社である株式  
会社カイエンの恒川裕  
二取締役より挨拶があ  
った。今年4月から年  
間10回ぐらい日本国外  
に向けて放送する Side  
by Side #6という30分  
番組を始めています。日本がさまざまな国際交  
流をし、日本が国際貢献をしてきたことが現地  
の人たちにプラスになっているこのようなこと  
を海外の人たちに紹介できないかということで  
立ち上がりまして、今回はこの日本伝統治療(柔  
道整復術)指導者育成・普及プロジェクトを取り  
上げさせていただきました。支援する側とさ

る側が寄り添って一緒になって成長していく  
という姿を描くのがこの番組のコンセプトです。  
モンゴルの指導者が育成されてプロジェクト終  
了後もモンゴル人のみで柔道整復術普及活動が  
継続されて行われていくことが紹介できれば幸  
いです。柔道整復術がモンゴルの未来を切り開  
くというような番組を作れば良いと願っており  
ます」と意向を述べた。

最後に、研修生を代表して挨拶に立ったエン  
フ台湾ン・トゥブシンバヤル准医師は、関係  
各位に「日本の先生方、日本の多くの方々に出  
会ったのは私の一期一会です。日本で勉強した  
ことをモンゴルに帰ってしっかり練習し生かし  
ていきたいと思ひます。全力で頑張ります」と  
感謝と今後の決意を述べた。

その後、工藤会長より研修生に記念品の贈呈  
があった。

多くの来賓の方々より、閉講式での3名の熱  
心な報告と日本の文化が生みだした武士道精神  
を持った柔道整復術の発展を期する使命を背負  
っている日整に対して、異口同音に賞賛の声があ  
り、盛り上がった懇親会となった。



▲感謝、決意を述べた研修生代表



# NHK 国際放送

## NHK ワールドで放送決定!!

国内では NHK ワールド TV の公式 HP 上でご覧いただけます！

JICA 日本伝統治療（柔道整復術）指導者育成・普及プロジェクトにおけるモンゴル人柔道整復術指導者候補者と柔道整復術を指導する講師の活動をご覧ください。

番組タイトル

## Side by Side #6

「草原の民に“身の丈”の柔道整復術を～モンゴル」

### 放送予定日時

2014年10月18日(土) 24:10～(※日曜日のAM0:10～) 英語放送

### ウェブでの見方

国際放送により国内では NHK ワールド TV の公式 HP 上で放送と同時にストリーミング視聴が可能です。

※詳しくは NHK ワールドの HP をご覧ください。

<http://www.nhk.or.jp/nhkworld/> にアクセスし、左上の **NHK WORLD** をクリック→右上の **NOW ON AIR** をクリックするとご覧いただけます。

### 主な内容

日本柔道整復師会は2008年より JICA の支援を受け、モンゴルにおいて「柔道整復術普及プロジェクト」を開始した。毎年2回定期的に専門家チームを現地に派遣し、技術の伝達と指導者育成に奔走してきました。

番組では、今年の8月末から9月中旬にかけて行われた日本柔道整復師会のモンゴルでの普及活動の取材を通して、夢の実現に向けて熱心に学ぶモンゴルの若者たち、習熟した技術を吸収しようとする地方の医療従事者、そしてそれを支える日本の柔道整復師たちの姿に迫ります。

# 柔道整復の未来のために

富山大学大学院教授  
西条<sup>にしじょう</sup> 寿夫<sup>ひさお</sup> 先生に聞く

聞き手 公益社団法人富山県柔道整復師会会長 林 豊輝

林：平成21年から富山大学大学院に日本柔道整復師会の出資により、柔道整復（神経・整復）学講座を開設していただきありがとうございます。

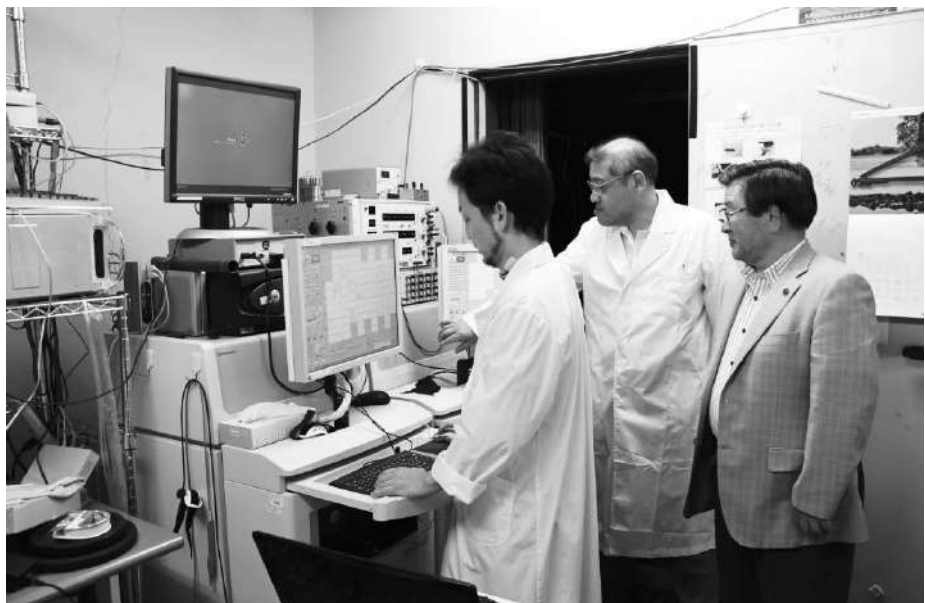
さて、開設に際してはさまざまな障壁が立ちただけ、クリアしなければならない問題が山積していたことは、私も西条先生のお話や先生のもとで勉強している本会の酒井重数会員からも聞いていました。困難な状況にも関わらず柔道整復師の講座を開設されたお気持ちはどのようなものですか？

西条先生：私は長野県西北に位置する小川村という人口3,000人以下の寒村で生まれ育ちました。私が物心ついたころから捻挫や痛みがあると接骨院へ通院し治してもらっていました。私の父や母をはじめ家族、近所の人たちも皆、接骨院で治療を受けていました。臨床での柔道整復術は、国民から非常に高い評価を得て信頼されています。しかし、私が医学の道を志し柔道整復師の方々との交流が芽生え、その方々からさまざまな柔道整復術を教えてくださいましたが、柔道整復術の科学的解明、とりわけ帰納

法的視点からの生理学的解明は、殆ど未開拓の分野といわざるを得ない現状を知らされました。

柔道整復の“術”が、“学”として受け継がれ、国民医療の重要な一翼を担うためには、柔整施術の治療効果の科学的な解明と、EBM（根拠に基づいた医療）に則った整復術体系の整理再編が必要であると考えています。そのことが、これから迎える超高齢社会で高齢者に頻発する運動器系の疼痛に対処する最善の方法であるとの信念から、柔道整復術、いわゆる非観血的保存療法について研究する講座を開設することとしました。

林：私たち柔道整復師は、江戸時代から地域医療を支え、明治期に接骨術禁止令が発令さ





## 西条先生プロフィール

昭和31年1月19日生れ 長野県出身

1976年 4月 富山医科薬科大学医学医学科入学  
1982年 3月 同 卒業  
同年 4月 同 医学研究科博士課程  
同年 5月 医師免許取得  
1986年 3月 同 修了(医学博士取得)

職 歴

1986年 4月 富山医科薬科大学医学部  
第二生理学助手  
1993年 4月 富山医科薬科大学医学部  
第二生理学助教授  
1998年 6月 富山医科薬科大学医学部  
第一生理学教授  
2004年 4月 富山医科薬科大学・大学院医学系研究科 システム情動科学教授  
2005年 10月 (富山大学と富山医科薬科大学が合併し名称変更)  
富山大学大学院 医学薬学研究部  
システム情動科学教授  
2007年 4月 富山大学生命科学先端研究センター長(併任)

(外国出張)

1987年 10月 ペンシルバニア州立大学・医学部・行動科学教室(2年間)  
1989年 10月 Visiting Assistant Professor  
(主任 R. Norgren 教授)

れ一時期消滅しました。しかし地域、国民の要望と先達の努力により1920年(大正9年)に柔道整復術として復活しました。今日までの94年間にわたり地域の医療と福祉の礎を支え、地域の方々から愛され、活用される貴重な社会資源として貢献してきた歴史があります。約一世紀に及び国民の負託に応じ続けてきた事実こそが、我が国における柔道整復術

の重要性、必要性を公言できる証しであると自負しています。

さて、話は変わりますが現在、柔整学講座ではどのような研究をなさっていますか？

西条先生：当講座は開設当初より、柔道整復術の生理学的解明を目的とする研究機関とし、柔道整復術の有効性、各種施術の鎮痛プロセスの解明や、EBMに則った整復術体系の整理・再編を目的として活動しています。

現在、当講座では

1) 日常臨床での電療、電法、手技療法等の作用機序や論理を、科学的手法、特に西欧科学に基づいた現代医科学の手法によりメカニズムを解明し、柔道整復術の治療効果を立証する。

2) 臨床医療における柔整施術の有効性を科学的根拠に基づき立証するため接骨院に来院する非特異的筋痛症(現在の画像診断や神経学的検査に異常がなく、軟部組織に起因する疼痛患者)を対象としたランダム化比較臨床試験(臨床試験)を実施

3) 画像診断装置を用い筋肉の硬度の画像化および定量化する目的から首都大学東京と共同でMRエラストグラフィー(MRE)の開発研究を行っています。

一言で言うと、手技療法、電法、電療等、柔整後療法の効果を明らかにするためヒトを用いて研究しています。

林：平成21年に講座が開講し、本年で丸5年が経ちました。開講の際には西条教授の師匠である富山医科薬科大学の元学長小野武年先生が「研究成果は1年や2年では難しい、最低10年は必要である。しかし、今やらなければ10年後の柔整業界は更に厳しくなるだろう。地域医療の礎を守り、柔道整復師の生活の基盤を整えることが国民の医療と福祉の向上に貢献できる。柔整業界には国立大学の研究室が必要である」と富山県柔道整復師会の接骨会館で力強くお話しされたことを今も鮮明に覚えています。

最低10年のようやく折り返し、5年間が経過しましたが、西条先生の研究から柔整後療法の、どのようなことが分かってきました

か？簡単に教えていただけないでしょうか。

**西条先生：**はい、詳しくお話すると非常に時間がかかりますので、簡単にお話します。

まず、手技療法の鎮痛効果について神経生理学的に解明する基礎研究を行っています。この研究は頸部痛患者に対する頸部への手技圧迫の中枢性機序として、前頭前野を介して自律神経活動を制御することによる鎮痛効果であることが明らかとなりました。

次に末梢での痛みの鎮痛効果を明らかにするために世界初の筋痛モデルラットを開発しました。この筋痛ラットの筋代謝活動を測定することで手技療法は、筋攣縮などによる異常なエネルギー不均衡を正常化することが示唆され、手技療法が筋の代謝産物が有意に変化することで手技療法の効果の物質的基盤の一端が明らかになりました。

また、手技療法が実際の臨床現場での効果を明らかにするため、全国の接骨院施設に来院した実際の患者を対象に大規模多施設ランダム化比較試験（臨床研究）を行いました。この研究は柔整業界初であり、薬剤治験と同様の試験手法を用いて、急性腰痛症に対して筋硬結圧迫の手技療法が統計学的に有効であることを明らかにしました。

この臨床研究の結果は、非常に重要な意味を含んでいます。通常、診療報酬の単価を決定する中央医療審議会では、報酬単価の増減を統計的に有効であることを前提に協議されます。統計的に有効でその治療を導入することが患者に利益を、すなわち有効な治療効果をもたらし、かつその治療を導入することによる費用対効果の影響をもとに算出されます。昨今の医療費抑制政策から費用対効果の影響が診療報酬単価の決定に大きく関わります。

現在の柔整療養費の料金改定は、中央医療審議会での議論ではなく、厚労省の担当官との協議により決定されると聞いております。しかし、一昨年から始まった柔整療養費検討専門委員会の議事録を読むと、一部の委員からは柔整施術の有効性の根拠、即ち「エビデンスを述べなさい」といった非

常に厳しい質問も出ています。

従来までの柔道整復師と国民、行政機関との信頼に基づいた料金折衝に、今後は根拠を示し、柔整施術は効果的であり、かつ経済的であるといった具体的な証拠を示す必要性が早急に求められるものと考えています。

その際にお示しできる根拠（エビデンス）とは、すなわち「臨床研究の結果」を意味しています。

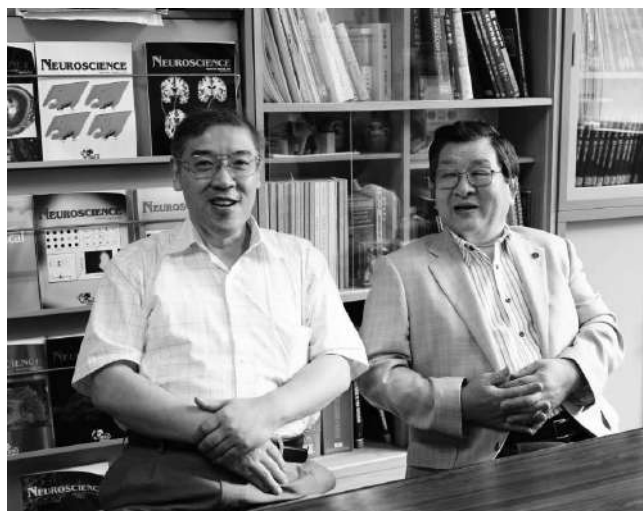
**林：**本会におきましても平成22年から西条先生のご助言により倫理委員会を発足し、会員に向けて人を対象とした研究の際の倫理的背景の重要性を指導するとともに県下の接骨院へ臨床研究への協力を啓蒙してまいりました。

現在の臨床研究の進捗具合はいかがでしょうか？

**西条先生：**富山県柔道整復師会はじめ、全国の柔道整復師会の先生方には臨床研究にご協力をいただきありがとうございます。

現在、臨床研究の結果、急性腰部痛に関する柔整手技療法は有効であるとの結論を得て、海外の専門雑誌へ投稿し、もうそろそろ掲載される予定です。

この臨床研究の信頼性を高めるためには、更にサンプル数を増やす必要があり、更に現在の急性腰部痛に加え、頸肩部痛、膝痛等々実際の臨床現場で診られる多くの運動器系の疼痛を対象として臨床研究を実施する必要があります。その結果が、根拠に対する的確な回答となります。今後も臨床研究へご協力い



▲西条先生（左）と林会長

たきますようお願いを申し上げます。

**林：**はい、分かりました。これからも臨床研究に関しましては積極的にご協力させていただきます。

さて、手技療法の有効性に関する研究のお話をいただきましたが、その他の柔整後療法の研究に関しても教えていただけますでしょうか？

**西条先生：**はい、電法の作用機序についてもヒトとラットを対象とした研究を進めています。

ヒトを対象とした研究では、頸部痛患者に対して温電法を頸部に施術し、脳血行動態および自律神経活動に及ぼす影響について検討しています。現在のところ、温熱シート貼付群は疼痛が有意に軽減したことが確認されました。この疼痛抑制メカニズムは、脳内や自律神経活動を変化させることによる鎮痛効果であることが明らかとなっています。

ラットを用いた研究では、先ほどお話しした当研究室で開発した筋痛モデルラットを用い、温電法および冷電法の効果について検討した結果、適切な電法の施行により痛覚が抑制されることが明らかとなりました。特に、実験的には温電法が筋痛抑制に有効であることが分かりました。

この温電法効果を、生化学的タンパク定量法のウェスタンブロット法で筋代謝酵素の発現から検討した結果、温電法効果は筋攣縮等による異常エネルギーの不均衡を正常化することが治療メカニズムであることが推測されます。これら温電法効果の物質的基盤の一端を世界で初めて解明しました。

次に電気治療の生体に及ぼす効果を解明する研究として、ヒトを対象とした神経生理学的基礎研究を実施しています。電気刺激は、従来の低周波電気刺激装置と比較し筋組織深部に刺激が到達する高電圧電気刺激療法を用いました。この研究の結果、頸部痛患者に対する頸部への高電圧電気刺激療法は、前頭前野の活動を抑制することにより手技療法と同様の鎮痛効果をもたらすことが明らかとなりました。

以上が電法と電療の研究の概要です。

**林：**ありがとうございます。手技療法、電法、電療と主たる柔整後療法について研究していただいていることが分かりました。これらの研究成果から柔整後療法は科学的に証明されたと言っているのでしょうか？また、柔道整復学は完成したと言っているのでしょうか？

**西条先生：**柔道整復術は、林会長が先ほどお話しになった明治期に一度、消滅しました。更に終戦後 GHQ により禁止令が施行され再度、消滅の危機を迎えたとも聞いています。二度にわたる禁止令にも関わらず、今日まで連綿と伝承されてきた背景は、国民に支持されたこと、すなわち国民の負託に答えてきたことに他なりません。この国民に支持された事実を、客観的に評価することが科学的解明となり、その手法は一言では説明できませんが、医科学での科学的解明の原則、特に臨床医学ではエビデンスの証明とメカニズムの解明の両者を明らかにする必要があります。

被検者や実験動物を用いた研究室内での基礎的研究はメカニズムの解明、大規模多施設ランダム化比較試験のような臨床研究はエビデンスの証明となります。

柔整後療法の作用機序、治癒機序に関して基礎的研究と臨床研究の両者が、さまざまな批判的反証に耐え論文で国際専門雑誌に公表される事実を積み重ねることが柔整後療法の科学的解明の評価へと繋がります。

その意味から現在は、当研究室で実施している腰部痛の手技療法に関する臨床研究から、非特異的急性・亜急性腰部痛に対して柔整手技療法の治療効果は統計的に有意であるとのエビデンスがあり、メカニズムも脳機能の解析に加え、末梢では分子レベルの解析を行っており世界最先端の研究を行っています。

柔整後療法解明のための臨床研究は緒に付いたばかりで、今後は電法、電療などの幅広い分野のエビデンスを確立するため多様な臨床研究を実施しなければなりません。

臨床研究は、多くの施設が参加して実施することが原則ですので、ぜひ、全国の日整会員の先生方のご協力をお願いします。



また、もう一方の研究室内で行われる基礎的研究は真理の追究であり、ゴールはありません。さまざまな医療機器、解析機器の進歩発展により新しい知見が日々報告されており、目まぐるしく日進月歩の進化発展を遂げています。

基礎的研究の真理の追究、すなわちメカニズムの解明は、伝統医療、東洋医学といえども国民の要望、すなわち安全で安心な医療の提供のためには必要不可欠であり、特に国民の財産である公的医療保険を使うためには必須条件となっています。

エビデンスの証明とメカニズムの解明があるからこそ、良質で安心・安定した医療を提供できることをご理解いただきたいと思えます。

さて、もう一つの質問の「柔道整復学の確立」についてですが、本講座が設立される際、日整執行部の先生方をはじめ多くの先生方から「ぜひ、柔道整復学を確立してもらいたい」との要望を多く伺いました。出資者である柔道整復師の先生方に目に見える形として柔道整復学の確立を提示する方法として協議した結果、独立行政法人大学評価学位授与機構での柔道整復学区分新設を一里塚と捉え活動してまいりました。

先生方ご存じのように本年4月に同機構から柔道整復学の区分新設が認められ、我が国における28番目の学問として公認されました。学位授与機構が認定する学位区分は、理論体系、専門領域、教育体制、国民の認知度などさまざまな側面から評価、判断され決定されており、同機構の柔道整復学公認は我が国が正式に認めた「学問」領域といえます。このことから、学位授与機構での公認は胸を張って「柔道整復学の確立」と主張できるものと考えています。

しかし一方、学の確立とは一部の権威者や機関から免罪符をもらい印籠のように提示するものではなく、学に関わる関係者、専門家が主体的にその専門領域を追求し、切磋琢磨する行為そのものが「学の確立」といえます。

その意味から「柔道整復学」の器は公式に

用意されました。その器に「柔道整復学」を育む気持ち、エネルギーを注入し、柔道整復学を発展させるのは一人ひとりの柔道整復師の意識次第となります。全ての柔道整復師、とりわけ若い柔道整復師が地域医療と福祉の向上のため学問的追究の姿勢を醸成するような業界気質が育まれることを希望します。

**林：**平成21年に開講以来、わずか5年間でさまざまな研究活動に加え、行政機関においても正式に柔道整復学を公認していただいたことなど、我われ柔道整復師のために精力的に活動していただいたこと、本当にありがとうございます。

時間の都合上、最後の質問となりますが、西条先生の研究室での成果が及ぼす波及効果について簡単にお教えいただけますでしょうか？

**西条先生：**はい、今後も継続して、柔整後療法の基礎研究、臨床研究ともに研究活動を進めてまいります。その結果を基に日整執行部、担当部の方々と共に中央医療審議会に提出するような医療技術評価提案書等を作成したいと考えています。これには「柔道整復師を活用した方が患者の社会復帰が早く、かつ医療費は安くなりますよ」、「柔道整復師を社会的資源として活用することが地域にとって有益ですよ」といった内容です。

これらの作業を繰り返すことが柔道整復術の有効性の証となり、柔道整復学発展の礎となります。

また、種々の研究過程から、たとえば電法の研究により「温電法は冷電法に比べ疼痛抑制効果が高い」との結論が得られました。これらの結果は柔整療養費の温電法待機期間との整合性からも矛盾が生じており、この結果を根拠に柔整療養費取り扱いルールの見直しの一石として活用することも可能です。

電療に関しても、電療全てが同一料金との現状は日々、進化発展している電療機器の性能の向上から矛盾を感じます。特定の電療機器は高性能であり臨床研究での治療効果が有意に高く、かつメカニズムも解明されている場合は、加算を加えるといった現状に応じた

料金交渉の材料の一つにさせていただくことも結構かと思います。

私たち国立大学の研究室から研究成果を基に「施術料金は幾ら」といった提言を申し上げる立場ではございませんが、ぜひ、業界団体である日整はじめ柔道整復師の先生方が当研究室からの研究成果を有効にご活用いただければと思います。

話は変わりますが MRE の開発を首都大学東京と実施していますが、世界で初めて軟部組織に由来する疼痛の原因部位の画像化が可能となりつつあります。このことは単なる肩こりや腰痛と治療が必要な肩こり様の頸肩背部痛や腰痛と区別することが可能となりますし、また、わずかな物理刺激で筋緊張が寛解する症例と長期間、広範囲わたり物理刺激を加えないと筋緊張が寛解しない症例との相違も画像により区別できる可能性があります。

さらにわずかな外力により疼痛が発症する原因も推測できる可能性があります。

これらの結果は、長期間や広範囲への施術が必要である根拠を示すことに繋がります。

昨今、患者と保険者、柔道整復師との見解の相違が大きな問題となっています。藁にもすがる思いで接骨院へ来院された患者を救済するためにも、これらの結果を有効にご活用いただきたいと思います。

最後になりますが、現在我が国は、人類史上経験がない超高齢社会を迎えています。

高齢化率は2035年には33.4%、2060年には

39.9%に達して、国民の約2.5人に1人が65歳以上の高齢者となる社会が到来すると推計されています。このような社会に対応するためには、医療福祉関係者のみならず国民全てがおのこの役割を認識し行動に移す必要があります。特に柔道整復師は運動器系の専門家として重責を担います。「柔道整復術は骨折、脱臼、捻挫、打撲、腱の断裂といった運動器系の故障に対して非観血的治療を行う我が国の伝統医療の一つである」と柔道整復学として定義付けられました。また、社会的ニーズとして、柔道整復師を「高齢化の進行に伴った運動器の健康管理を担う社会的資源の一つである」とも示されました。しかし一方、その社会的資源の役割を全うするためには「深い専門性と広い教養が必要である」との指摘も受けております。

当講座におきましても柔道整復師の先生方が、超高齢社会における社会的ニーズに対応し、社会的資源として活用する有効性をお示しできる研究を進めてまいりたいと考えています。

今後ともご支援、ご理解賜りますようお願いを申し上げます。まだまだ、言い足りないことがたくさんございますので、今後もぜひ、当講座紹介の機会をいただければと思います。

本日はありがとうございました。

**林：**私もまだまだお尋ねしたいことがたくさんありますが、時間も超過しております。

本日はありがとうございました。

## 新任保険部長に三橋裕之理事を選出

平成26年度第5回の理事会が平成26年7月28日(月)に開催され、去る平成26年7月7日にご逝去されました故吉田充孝先生の後任として、執行部満場一致の賛同を得て、新保険部長に保険担当の三橋裕之理事が就任された。

なお、三橋先生からは、故吉田部長のご意志を受け継ぎ、保険部万全の態勢をもって、業界の権益堅持と、工藤会長が望まれる施策方針とに全力をもって職務を全うする旨、発言があった。

保険部長 三橋裕之



この度、平成26年度第5回理事会にて、ご推薦そしてご承認を賜り、故吉田充孝前部長の後を受け、保険部長を拝命することとなりました。

昨年6月から、保険担当理事として故吉田保険部長を支え、今年度4月の消費税率変更に伴う厚生労働省との料金改定では、付帯事項が全く付かない交渉を実現するなど、保険部門で業務遂行して参りました。

また、田中相談役のお力添えにより、約1年間で厚生労働省はもとより、金融庁、国交省、ならびに、経産省と交渉窓口を大きく広げ、地域包括ケアシステム関連においても老健局介護保険計画課と交渉を継続し、あらゆる局面に対応できるよう備えて来ております。

そして、急逝された故吉田部長とは約10年間に渡り保険部員として業務行動を共にし、常に日整全体、柔整全体を捉え、これらを深く考慮した議論を保険部にて実行して参りました。今後は皆様より、多くのご意見を頂戴いたしながら、伊藤宣人保険担当理事と力を合わせて、日整保険部医療課、介護対策課が一丸となり、工藤会長のグローバルな施策方針の実現・実行に向け、努力して参りたいと存じます。

つきましては、ご指導ご鞭撻のほど、何卒、よろしくお願い申し上げます。

# チンギスハーンの国

国際部 本間 琢英

## 馬乳酒（アイラグ）

多くの日本人は馬乳酒を「酒」だと思っているが、実はそうではない。モンゴル人の認識は「酒」ではなく「食品」なのだ。

「食品」だから、当然子供も飲む。多くの遊牧民は、朝食をこの馬乳酒だけで済ます。家族でガブガブ飲み、その後それぞれの仕事に行く。ただ食品といえども1～3%ほどのアルコール分を有するので、飲み過ぎれば当然酔ってくる。朝食の馬乳酒を飲み過ぎ、仕事を妻や子に任せ、ゲルの日陰で昼寝をする愛すべき家長の姿は地方ではそう珍しい光景ではない。

馬乳酒作りは女性の仕事。馬の出産時期、すなわち夏の数か月だけ作られる。牝馬一頭から一日とれる乳はせいぜい200cc。だから乳しぼりだけでも大変な労働となる。絞ったばかりの乳と菌が残っている古い乳を混ぜひたすら攪拌する。その家の菌により味に微妙な違いがあるといわれるが、我われにはよく分からない。

地方へ行くとき、道路端で作りたての馬乳酒を瓶詰めにして売っている。これの取り扱いには注意を要する。車の揺れと車内の高温でさらに発酵が進み、いざ飲もうというとき栓



を抜いた瞬間一気に噴き出す恐れがある。私たちが何度か失敗し運転手に迷惑を掛けた。

大抵の日本人は、馬乳酒を初めて飲むと下痢をする。殺菌処理をしてないからだ。だからこそ旨いのだと彼らは言う。ただ、一度その経験をするとその後どんなに飲んでも不思議なくらい平気になる。そして、あの酸っぱい味が懐かしく無性に飲みたくなってくる。

南の地方に行ったとき、ラクダの乳で作った馬乳酒（インゲニアイラグ）を飲んだ。馬の乳から作ったものは乳白色だが、ラクダの乳から作られたものは驚くほど真っ白だった。そして味もすっきりとしていた。

ラクダはモンゴル語で「テメ」という。覚えやすい。私のラクダに対するイメージは「月の砂漠」。炎天を避け、月夜に砂漠を進むキャラバン隊、すなわち desert ship だった。だから吹雪の中で寒そうにしているラクダをこの国で見たときは驚いた。そしてほかの家畜と同じように、労働させられ、乳を搾られ、肉を食べられ、その毛はセーターになっているとは夢にも思っていなかった。

大地の草を家畜が食べ、その家畜の乳や肉を人が食べ、その皮や毛から着るものを作る。その単純だが明確な「生」のサイクルがモンゴルではよく感じられる。



## ここは女子大？

7年前モンゴル国立医科学大学を初めて訪れたとき、女子学生の多さにびっくりした。まさに「ここは女子大学ではないか？」と思ったくらいだった。

モンゴルでは、医師だけではなく、教師、役人、管理職などでも非常に女性が多い。

1990年、旧ソ連の統治下から自由主義に移行したモンゴルでは、現在でも当時の社会主義教育の影響で、職業に対する優劣や男女差別をつけない考えが定着している。更には、資本主義への移行期には失業者が急増し、酒に溺れる男性が増えた半面、この時期に女性が大きな力を発揮し国を支えたいらしい。また国の施策で医療従事者の養成をまず看護師から始めた。看護師だから当然女性が多く応募した。その後、医師などの医療従事者養成においても同様に多くの女性が応募する結果となった。

経済の視点からみると、多くのモンゴル人男性は、とりあえず現金を手にする仕事を選ぶ傾向にあるらしい。比較的若いときから家族のために、力仕事などに多く就く。場合によっては、更なる高収入を求めて海外に働き場所を求める人も珍しくはない。

モンゴルにおいても、医師になるためには、日本と同じ教育期間がかかり、学費も高い。しかし、医師は一般的には公務員であるため、

その給料はそれほど高くない。だから高収入を望む男性にはあまり魅力的な仕事とは映らないのかもしれない。

ここでロマンチックな話をひとつ紹介する。モンゴルの子供たちは、子供同士で遊ぶとき、たいてい、女の子はお医者さん役を、男の子はお相撲さん役をする。なぜかというところ、それらは、モンゴルの女の子、男の子の理想の職業だからだ。

純情な女の子の多くは、その小さな胸に、子供のころの夢を大切に持ち続け、必死に勉強し、お医者さんや看護師さんになる。確かに、学生や女医さんに「なぜ医者になったのか」と聞くと「小さいころからの夢だった」と答える人は非常に多い。

私は、モンゴルのさまざまな場所で出会った子供たちの純真なまなざしや、女子学生のモチベーションの高さを思い出す。家事の手伝いをしながら、草原で過ごした子供のころの夢を持ち続け、その実現に向け必死に頑張っているモンゴルの若者たち…。日本人が忘れかけている何かがあるような気がする。



## モンゴル女性に一番人気のお相撲さんは？

モンゴル人男性の大相撲の見方は玄人肌だ。勝敗に一喜一憂せず、内容を冷静に分析する。ほとんどのモンゴル人男性がモンゴル相撲などの格闘技の経験があるからなのだろう。

それに対して女性は、好き嫌いがはっきりしている。数年前だが、地方各地を回り、話の中で「大好きなお相撲さんは誰？」と女性医師たちに聞くと、圧倒的な人気を誇る日本人力士がいた。2011年に引退した元大関「魁皇」だ。「どこがそんなにいいの？」と聞くと

「強くて、ハンサムで、優しそう」とほとんどの女性が言う。「えっ、ハンサム？」と思わず聞き返してしまった。ある県の女性保健所長などは「オー、マイ、カイオー、カイオー、一度でいいから会いたい!!」とのメッセージを真剣に我われに伝えてくれというほどなのである。今、日本では「遠藤」が女性人気を独り占めにしているが、モンゴルの女性にはどうなのだろうか。今度行ったら聞いてみよう。

# 会務執行状況

(6月～7月)

## 日 整 関 係

### 平成26年 6 月

日付	曜日	会議等	出席者
3	火	監査会	工、内、豊、佐
4	水	部長連絡会議	
		理事会	
7～8	土～日	京都府社団法人設立60周年式典・祝賀会	工、木、萩、豊
8	日	愛媛県保険研修会	三
10	火	国際部会	
		モンゴル指導者日本研修開講式	
11	水	広報部会	
14～15	土～日	第39回中国学術大会山口大会	工、木、松
16	月	総務部理事者会議	
17	火	田淵健一先生名誉博士号授与祝賀会	工、萩
18	水	内閣府公益相談	森
		経理部会	
21	土	理事会	
22	日	役員選任委員会	
		通常総会	
28～29	土～日	第36回北信越学術大会石川大会	工、木、萩、豊、松

### 平成26年 7 月

日付	曜日	会議等	出席者
2	水	部長連絡会議	
		グループ保険受託社会議	萩、豊
4	金	北海道柔道整復専門学校（業界説明会）	工、萩、三
5～6	土～日	第43回北海道学術大会札幌大会	工、木、萩、松
7	月	国際部会	
11～12	金～土	吉田充孝先生通夜・告別式	工、萩、豊
12～13	土～日	第35回東北学術大会岩手大会	工、木、萩、松
14	月	学校協会等四者懇談会	工
17	木	総務部会	
		池田省三記念介護講演会	豊、三
20～21	日～月	第43回九州学術大会佐賀大会	工、木、萩、松
24	木	保険部会（医療）	
25	金	呉竹鍼灸柔整専門学校（業界説明会）	萩、和
27	日	関東ブロックゴルフ大会	工
28	月	全国介護関係担当課長会議	伊
		理事会	
29	火	経理部会	
		日本医師会役員就任披露パーティー	工、豊
30	水	日体柔整専門学校（業界説明会）	春、深
31	木	国際部会	
		厚生労働省保険局就任挨拶	三、伊

※出席者の名前と役職を列記します（表中では頭文字のみを使用）

工——工藤日整会長  
 木——木山日整副会長  
 萩——萩原日整副会長  
 豊——豊嶋日整総務部長  
 佐——佐藤日整経理部長  
 三——三橋日整保険部長  
 松——松岡日整学術部長  
 伊——伊藤宣人日整理事  
 内——内山日整監事  
 森——森本日整総務部員  
  
 春——春原東京都理事  
 深——深井東京都理事  
 和——和田神奈川県会長

## 平成26年度 日整主催学術大会一覧

ブロック	担当都道府県	学会名称	講師・演題	開催予定日
近畿	(公社) 滋賀県 柔道整復師会	公益社団法人日本柔道整復師会 第39回近畿学術大会 滋賀大会	滋賀医科大学 睡眠学講座 ◎ 特任教授(主任) 宮崎総一郎先生 演題「健やかな眠りのために ー柔道整復師に役立つ睡眠学ー」	10月19日(日)
大阪	(公社) 大阪府 柔道整復師会	公益社団法人日本柔道整復師会 第8回大阪学術大会		11月8日(土) 11月9日(日)
東海	(公社) 静岡県 柔道整復師会	公益社団法人日本柔道整復師会 第49回東海学術大会 静岡大会	特定医療法人 米田病院 ○ 理事長・院長 医学博士 米田實先生 演題「アキレス腱断裂について」	11月16日(日)
関東	(公社) 神奈川県 柔道整復師会	公益社団法人日本柔道整復師会 第37回関東学術大会 神奈川大会		平成27年 3月8日(日)

◎印の学術大会は、どなたでもご参加いただけます。

○印は、特別講演のみどなたでもご参加いただけます。

### 日本柔道整復師会のアンチエイジング講座

#### 日本柔道整復師会のアンチエイジング講座がHPでご覧になれます。

平成26年3月28日から、自分らしく人生を仕上げる終活情報サイト「産経デジタル終活WEBソナエ」のアクティブライフのページに「日本柔道整復師会のアンチエイジング講座」の連載が始まりました。約3週間に一度更新されます。ぜひご覧ください。

日整ホームページ (<http://www.shadan-nissei.or.jp/>) にアクセスし、右に並んでいる「アンチエイジング講座」のバナーボタンをクリックすることで今まで掲載された記事が表示されご覧いただけます。

日整フォーラム

# Nissei Forum

国民のため、地域住民のため、患者さんのため公益活動をしてまいります

## 北海道

### 第43回北海道学術大会札幌大会特別講演 『地域包括ケアと柔道整復師の役割』

岡山大学客員教授 前厚生労働省老健局長  
宮島 俊彦先生

超高齢化を迎える日本では、病院から地域・在宅まで、医療から福祉までの地域包括ケアシステムが求められている。このシステムにおいて、柔道整復師がその専門性と経験を活かして、どのような役割を果たすべきかについてご講演されました。

#### 【地域包括ケア】

地域包括ケアとは昭和50年代に広島県御調町の国民健康保険診療所の医師である山口昇先生が使い出した言葉です。看護師さんによる在宅での健康指導、ヘルパーの導入、老健施設、特別養護老人ホームを造り、いきなり自宅に戻るのではなく保健施設でリハビリを行ってから戻り、重度の方は特別養護老人ホームに入所していただくなど、病院だけではなく、施設を造ることで病院が初めて機能すると考えたのです。現在、このような方向で行かなければ高齢化社会は乗り切れないということで広まってきています。

#### 【超高齢化社会】

2010年は3人の若者で1人の高齢者を支えていたのでこれを騎馬戦型とっていました。もう少し前はお神輿型とっておき、2025年は2人で1人を支え、2050年になると1人が1人を担ぐので肩車型といわれていますが、これは何歩も歩けないと思います。これからの高齢者の



▲講演する宮島先生

3区分について65～75歳はできるだけ働こう、75歳～85歳はできるだけ自立した生活を送ろう、85歳からは穏やかな晩年を過ごそうという目標を掲げています。

#### 【介護ビジネスの現状】

批判的な意見として零細・小規模の事業所が多く、経営効率が悪い。更にサービスも断片的でありプロのサービスになっていない、付加価値が低いなどの意見も出ています。肯定的な意見としては、参入が自由であり、需要増が見込め、介護報酬で支払われるためビジネス上安定的であるなど、最近は競争が激しくなっていますがこのような点が挙げられます。

#### 【高齢者ケアの諸問題】

最近いわれるのは認知症の行方不明で、この問題は医療関係者と介護関係者だけで何とかできるかというところではなく、見守りが必要になります。また引きこもり老人、孤独死も話題に上りますがこれは社会との繋がりがなくなった方の問題であり、この繋がりをつけるのは医師の仕事です。

#### 【医療改革と地域包括ケアシステムの構築】

急性期病院で急性期や亜急性期・回復期、最近では地域包括ケア病棟というのが診療報酬でできました。ここに1～2ヶ月くらいいてリハビ



りや治療を行い、自宅でかかりつけ医が対応できるようなことをします。急性期病院は平均在院日数を短縮していくなど機能を決め、帰宅後は訪問診療と訪問看護やデイサービスの利用、あるいはホームヘルプを利用するなど地域で生活を支えるような基盤を作っていくということです。

### 【地域包括ケアの概念】

住まいと住まい方、本人家族の選択と心構えというか、在宅となるとそれなりの心構えがあります。ゴミ出し、見守り、買い物、配食などはできないので、地域でどうにかしなければなりません。また虐待、認知症の方の財産問題などは市町村や後見人制度という別の福祉サービスで対応しなければならない。このように生活が成り立つ土壌ができて、そこで初めて専門職、プロである医療、看護、介護、リハビリ、保健、予防などが関与していくということが地域包括ケアの概念です。

### 【超高齢化社会の基本理念と課題】

継続性をもって暮らす、高齢者自身の自己決定の尊重、自己資源の活用が高齢者ケアの3原則です。課題として保健・予防は普及しているか、介護が自立支援に資するサービスになっているか、在宅の重度者支援、看取りができるようになるか、地域の福祉・生活支援をどう構築していくか、住まいとケアの分離をどう進めるかなどがあります。

### 【事例】

稲城市というところにボランティア制度があり、活動を行った高齢者に対して、ポイントを付与するものです。「夢の湖村」という100人規模のデイサービスがあります。何が有名かという点、在宅と同じ環境をつくっていて、メニュー



▲講演風景

ーが豊富なため、皆さん一生懸命やるので、要介護が改善してしまうようです。埼玉県和光市では要介護認定率の引き下げをしました。地域ケア会議の発祥の地です。新潟県長岡市では山の上の特養ホームを廃止して、地域丸ごと包括ケア、365日の配食サービスなど行っています。気仙沼では被災地の取り組みとして、医療と介護のITシステムなど広域環境未来都市構想があります。宮崎県のホームホスピス「かあさんの家」という所は、1ヶ所当たり5～7人程度、終末期の方が民家でホームシェアしています。そこに訪問診療、訪問看護、訪問介護が24時間体制で入ってくる所があります。

### 【柔道整復師の役割】

盛んに地域包括ケア体制といわれているのは、地域ケア会議、在宅医療連携拠点などであり、この体制をつくるには市町村が医師会と協力していくことが基本です。そこにどのように参画できるかどうか、皆さんがどのような役割を果たせるかということが重要です。

柔道整復師の役割として

- ①保健予防にどう取り組むか
- ②自立支援にどう取り組むか
- ③認知症がある人に何ができるか
- ④市町村行政に何が協力できるか

これらを念頭においてそれぞれの地域での活躍をお願いします。

(広報員 高山訓正)

## 関東地域

### 群馬県

### 仕事と柔道 両立する姿に「礼！」

#### 第38回日整柔道北関東ブロック選手選考会

平成26年6月15日(日)、厚生労働大臣旗争奪の標記選手選考会を群馬・栃木両県の役員と選手が参加して開催した。試合は、全国少年柔道大会県選手選考会に続き、同会場で午後12時30分から開始。

試合後に選手選考会が開かれ、試合結果、内容等を検討し全国柔道大会に出場する北関東ブロック選手団を決定した。

先鋒 刈屋 遵 (栃木・四段)  
 次鋒 倉井康雄 (栃木・四段)  
 中堅 高木啓光 (群馬・五段)  
 副将 嶋村和彦 (群馬・六段)  
 大将 小椋国吉 (栃木・五段)  
 監督 木暮昌利 (群馬・七段)

ナ両選手、6年生は見友・射羽両選手が群馬県代表に選抜された。

(広報員 永井 毅)

## 千葉県

### 48団体延べ400人参加

#### 第23回日整全国少年柔道大会千葉県大会 第4回日整全国少年柔道形競技会千葉県競技会

平成26年6月8日(日)、千葉県総合スポーツセンター武道館において、本会主催、(公社)日本柔道整復師会・千葉県柔道連盟・千葉県柔道道場連盟・千葉市柔道協会・船橋市柔道連盟後援、千葉県柔道整復師協同組合協賛により、標記大会が48団体延べ400人の少年少女の参加により開催された。

ここ数日の厳しい暑さが…

数日間続いた真夏並みの厳しい暑さも一変、ウソのように涼しくなった絶好の柔道日和に恵まれ、早朝より選手が参集、一般市民ギャラリーも次々と訪れた。

開会式では、公用で欠席の岡本会長に代わり高橋副会長は「本日観戦に来ていただいた市民の皆さん、そして引率いただいた選手のご家族の皆さん誠にありがとうございます、選手たちへの力強い応援よろしくお願いたします。選手の皆さんは、激しい戦いの中にも相手を思いやる柔道精神を忘れず、日ごろの厳しい稽古の成果を十分に発揮し、最後まであきらめない悔いのない戦いを期待します」と挨拶された。

続いて来賓祝辞、優勝杯返還、審判長より試合上の注意の後、明心館関本道場の関本賢太選手の力強い選手宣誓があり大会の火蓋は切って落とされた。

#### 熱烈な応援合戦!

試合は団体戦・個人戦ともに素晴らしい白熱した熱戦が展開、観客席ではそれぞれの団体の応援団が身を乗り出しての力強い応援合戦が繰り広げられ、場内放送で「IDカードを持たない方は観客席内で応援してください」とたびたび注意されるほどの熱烈な応援の中、各部の表彰者が決定した。

形競技会では緊張感の漂う静寂の中、小学生とは思えない素晴らしい「投の形」を落ち着い



▲北関東ブロック代表選手と役員

### 果敢な技に拍手

#### 第23回日整全国少年柔道大会群馬県選手選考会

平成26年6月15日(日)、前橋市民体育館柔道場で、文部科学大臣杯争奪の標記選手選考会を開催した。日整全国少年柔道大会は毎年10月、体育の日に東京の講道館で開催される。試合は午前9時30分から開始。県内の小学4年生から6年生、総勢63名が参加。学年別に体重無差別、男女混合で試合が行われた。各学年の上位に入った選手の中から日整全国少年柔道大会への出場者5名が選ばれた。

#### 5選手を選抜

試合後に行われた全国大会出場選手選考の結果4年生は関口選手、5年生は田代・オゾエメ



▲群馬県代表選手



▲開会式

て演武、観客席から自然と拍手が沸きあがった。

なお、健康相談ブースでは多数の市民が訪れ、本会学術部員が親切に対応していた。

#### 表彰者

団体戦男子の部 優勝 明心館関本道場

団体戦女子の部 優勝 植村塾

形競技会 優勝 取) 大鷲ほのか  
受) 大鷲泰生  
(流山市柔道会)

個人戦4年生の部 優勝 遠藤 大城  
(明心館関本道場)

準優勝 中島凜太郎(植村塾)

個人戦5年生の部 優勝 永沼利得  
(中山柔道会)

準優勝 藤田 大  
(紅柔道少年団)

個人戦6年生の部 優勝 村山 豪  
(紅柔道少年団)

準優勝 八田京麿(植村塾)

\*平成26年10月13日(日)講道館で行われる日整  
全国少年柔道大会には各学年の優勝者と5年  
生・6年生の準優勝者が代表選手として出場し



▲監督と代表選手

ます。

#### 講評・閉会宣言

閉会式では倉本大会委員長による、最後まであきらめずファイトあふれる試合をした選手たちへの賞賛と、的確な判定にあたった審判団への賞賛の言葉があった。

最後に閉会宣言で木村副会長が、協力いただいた各団体および各道場関係者、大会運営に尽力した役員、そしてお手伝いをしてくれた高校生へのねぎらいの言葉があり、大会は成功裏に、大きな怪我もなく無事終了した。

(広報員 渡辺 勇)

## 神奈川県

### 災害時救護派遣訓練

平成26年7月6日(日)、第16回「北丹沢12時間耐久レース」会場を訓練域に想定して災害時派遣訓練の一環である救急時衛生材料の搬入訓練を併せて行った。

#### 1. 想定訓練

1) 平成26年7月4日15:00に山梨県県境、道志村地域と相模原市緑区青根地域を震源地とする震度5強の地震が発生。本会事務所に18:30災害対策本部を設置

2) 震源域に隣接する本会相模支部では災害時医療救護マニュアルに従って自院待機、情報収集に努め、その状況を本部に報告とともに衛生材料の搬入等の応援救護要請をする

3) 本部においては発災現場までの進入ルート  
の安全と搬入衛材・装備品・派遣人員の確保および変化する状況の情報収集を7月5日18:00まで行い、7月6日6:00までに被災地A、B、Cの3救護所への人員配置の指示を出す

#### 4) 人員配置は

A救護所隊 下山 庄司 永田 松原 松橋 亀崎 相模支部

B救護所隊 久保田 八木(雅) 八木(敏) 相模支部

C救護所/搬入隊 白鳥 田代 稲葉 本部派遣

5) 搬入衛材は救護バッグ3個ほかを7月5日対策本部備蓄倉庫より車積載し、A、B救

護所に搬入を行いC救護所では救護活動をする

## 2. 実地訓練

- 1) 7月6日(日) 晴れ、5:15相模原市緑区役所前に本部派遣の大和支部から応援救護の2名が到着
- 2) A救護所=大会レース本部救護所に5:55到着、衛材・資料等確認6:25出発
- 3) B救護所=第1関門・チェックポイント(18.58km) 神の川ヒュッテに7:05到着
- 4) C救護所=第2関門・チェックポイント(29.42km) 7:35神の川園地に到着救護ブース用テント設営

第16回北丹沢12時間山岳耐久レース救護ブースに本年も参加いたしました。第2回大会からの参画ですから大会役員の方々とも顔なじみです。早朝6時前に現着するとスタート地点はランナーとその応援をする家族などで沸き返っていました。

梅雨の切れ間の晴天日、走者にとっては走りやすい条件ながら、私たち救護ブースでは昨晩まで降っていた雨により路面が滑りやすく転倒による傷病が危惧される状態でした。本部、ならびにヒュッテ救護所には医師、柔道整復師、救命インストラクター、看護師の構成メンバーで待機しました。

C隊の配置である神の川園地はスタート地点からは約30kmであり、第2チェックポイントの500m手前の位置です。傷病の状態によっては、残り15kmが走破できるか否かの判断のアドバイスも求められる重要なブースともなっています。このブースは簡易テントのみの設営であり医師の参画がありませんから、重篤な熱中症などの走者が来ないことを願いつつ活動いたしました。携帯電話の使用ができない地域でしたがDr.ランナーとして参画の北里大学病院の看護師、看護学生の携行する無線から常に全行程の

救助を必要とする状況等が把握することができました。

7:35に現着し先頭ランナー(9:09通過)から20~30人が来るまでは余裕ある態勢でしたが10:30から12:30は、かなり忙しい状態でした。終わってみれば擦過傷、筋肉痛、靴擦れなどで、重篤な症状の方がいなくてホッといたしました。

各ブース	傷病者数
A	28人
B	36人
C	26人
スーパードラッグ救護	7人
合計	97人



▲C救護所メンバー

## 3. 結果・評価

高低差1,143m、距離44.24kmに挑戦した者1,712人。内完走者1,456人という結果でした。

救護担当者からの目線では256人が途中棄権をしたわけですが、各ブースでの集計からは捻挫、挫傷等も多く完走率85%は高い評価ができると思います。本部救護所ではレース完走後に体調不良で駆け込み、点滴治療を受けるランナーが多くみられました。

想定の手衛生材料等の搬入訓練、被災地までのルート確認および、そこに到達するまでの時間の想定など順調な動きができました。今訓練では食糧搬入支援など途中調達する必要がなかった



ので時間配分も良好であったのかと思われます。

園地＝C救護ブースに一人のランナーが駆け込んで来て『昨年この救護所で手当てを受けた者だが、昨年処置をしてくれた先生が今年はランナーとして走っているよ。あと30分もすれば追いつくよ。来たらよろしくお伝えください』との伝言。

昨年、派遣訓練に参加の横須賀支部増川俊太郎会員が本年は走者で出走、無事完走いたしました。次年度はスーパー柔整師として地元の下山支部長と共に参画でしょうか。

## 和田秀樹 新会長就任



平成26年7月7日(火)、吉田充孝会長の急逝により26年7月8日(水)理事会において定款第26条2項・4項、第27条2項に基づき代表理事の選任を下記のとおりいたしました。

記

代表理事 会長 和田 秀樹  
代表理事 副会長 牧野 吉一  
代表理事 副会長兼総務統括部長 齋藤 武久

(広報員 白鳥輝夫)

## 北信越地域

### 新潟県

#### 平成26年度県民公開講座

平成26年5月18日(日)、新潟東映ホテルにおいて、標記講座が開催されました。

講師に(公社)秋田県柔道整復師会保険部長佐藤幸先生をお招きし「秋田県の地域包括ケアシステムの現状～『パワーアップライフ秋田』としての通所型介護予防事業への取り組みと現状



▲講演する佐藤先生

について～」を講演していただきました。

秋田県柔道整復師会の介護への取り組み方は、統一のマニュアル(ストレッチ、筋力トレーニング)を作成。利用者をコミュニティセンターや体育館に集めて柔道整復師を派遣し実施するセンター方式と、各接(整)骨院に集めて実施するサテライト方式の両方で実施し、双方共に着実に利用者の方が増加しているとのことでした。その中で秋田市・大館市での介護予防事業において、実際に行われている指導内容をDVDの映像を見ながら説明していただきました。バランスボールを使った運動や脳トレを取り入れた体操を、実演を交えながら楽しく分かりやすく紹介していただき、とても参考になる講演でした。

続いて本会金子益美副会長より「新潟県の地域包括ケアシステムの現状」についての講演がありました。

これから我われ柔道整復師が、高齢者が住み慣れた地域で在宅での暮らしを継続できる社会の実現を目指すために貢献するには、介護予防の多くの拠点(地域の中での施術所の存在)や



▲バランスボール実演

専門職による個別の機能訓練を提供するなど、さまざまなことが考えられます。地域密着型のシステムである地域包括ケアシステムでは、本県の各市町村の介護予防を必要とする方々を現在以上にサポートできるとの内容でした。

以上の公開講座を通して、変化していく高齢社会において柔道整復師が貢献できるさまざまな方法を知ることができ、非常に有意義な時間を過ごせました。また、本会会員はもちろんですが、一般の方も真剣な眼差しで聴講されていました。

## 新潟市総合防災訓練

平成26年6月16日(月)、平成26年度の標記防災訓練が新潟県消防学校において行われ、本会から会員3名が参加しました。

「午前9時00分、新潟県佐渡沖にてM7.8の地震が発生し、新潟市では最大震度6強を観測した」という設定で始まりしました。航空機およびヘリコプターにより上空から被害状況を把握・報告の訓練、崩壊したビルや家屋の下敷きになった人の捜索、ならびに災害救助犬により発見・救出する訓練、屋上に残された人をヘリコプターで救出する訓練などが行われました。そのほか、ライフラインの応急復旧訓練、レスキューバイク隊、特殊車両隊等によるさまざまな訓練が行われました。

私たちの担当では、応急救護所が開設されトリアージ判定された後、中・軽度者に対し(前腕骨骨折・腰痛・下腿骨骨折・足関節捻挫)延べ5人に応急処置を施しました。訓練とはいえ模擬患者さんに「大丈夫ですか?」「痛くないですか?」など声掛けをして安心を与えられたと思います。これからも防災訓練に参加して、いかなる緊急時にも対処できるように備えておきたいと思いました。

また、新潟大学工学部情報工学科による情報収集実験が行われていて、情報収集が少しでも早く・間違いなく・簡単便利になることを願います。

ちょうど50年前の6月16日に新潟地震が起きました。その後にも我が県は、新潟県中越地震・中越沖地震と続けて被災いたしました。3年前には未曾有の東日本大震災が発生しましたし、各

地で自然災害等が頻発している日本、何が起きてもおかしくありません。「備え(技術・経験・物資)あれば憂いなし!」です。



▲応急救護所



▲応急処置訓練

(広報員 市川寿秀)

## 石川県

### 第63回金沢百万石まつり 日赤救護支援活動

第63回金沢百万石まつりが平成26年6月6日(金)から6月8日(日)にかけて開催され、メイン行事の百万石行列が行われ、6月7日(土)に救護ボランティア活動を実施しました。

百万石まつりは、加賀百万石の礎を築いた藩祖前田利家公の偉業をしのんで毎年開催される市民を挙げての祭りです。今年は加賀藩前田家の慶事を祝う「盆正月」の再現イベントもあり、観光客も含む約40万人が集まる祭典となりました。この大イベントを安全に運営するために、毎年多くのボランティアが汗を流しています。特に利家公の金沢城入場を再現した百万石行列はこのお祭りの最大の呼び物であり、行列が行われた6月7日(土)は日本赤十字社石川県支部が救護所を設置し、体調を悪くされた方や怪我人、迷子捜索や傷病者の救護活動などを実施。



本会でも、金沢北支部を中心に延べ19名の会員がサポート。接骨石川（SSI）赤十字奉仕団として日赤石川県支部の活動を支援しました。他の奉仕団を含め、救護ボランティアは総勢130名でサポートしました。

当日は薄曇りの天候。湿度も高い中、金沢駅東口で行われたオープニングセレモニーでは、100人を超える太鼓演奏が見る人の度肝を抜きました。まさに百万石にふさわしい大迫力！圧巻の演奏でした。今年には2015年北陸新幹線開業と、金沢シティーマラソン開催のPR隊も色を添え、行列に約2,500人が参加し、沿道には約40万人の観客が集まりました。

行列区間が長いことから沿道の3か所に救護本部を設置し、本部付きスタッフと観客の中や行列に沿って巡回する巡回班に分かれて傷病者などの救護に当たりました。巡回班はJR金沢駅東広場前から金沢城公園三の丸広場までの3.5kmの倍の道のりを徒歩にて同行していました。この活動は、行列が始まった午後2時から踊り流しの終わる10時過ぎまで続き、大きな事故もなく無事に終了いたしました。



## 第36回北信越学術大会石川県大会

平成26年6月28(土)、29(日)の両日、標記学会がホテル金沢にて本県主管で開催され、28日の夜は開会式、翌29日は公開特別講演、協賛発表、会員発表、実技発表、ポスター発表が行われ、約700人が参加しました。

公開特別講演では『金沢発整形外科医療の最前線～機能を残して命を助ける～』と題して最新の医療現場でのお話を金沢大学附属病院の土屋弘行整形外科主任教授にいただきました。

日本のベストドクターに選ばれた注目のドクターである土屋先生は以前までは、骨肉腫を発症すると患部を切断しても余命が1～2年でしたが、現在では8割の人が治る病気となったと説明し、液体窒素処理骨再建術や抗菌金属（ヨードコーティング金属）などを説明され、骨肉腫は最先端医療により現在では発症前と同じように走れるまで回復が望めるようになったと話されました。またどの診療科においても脚光を浴びているES細胞やIPS細胞の再生医療も説明され、感染症の心配もない再生医療の分野でのさまざまな応用が期待、研究されていると説明がありました。その後日本整形外科学会では、運動器疾患からの寝たきりをなくそうということで『骨折を防いで、脱ロコモ宣言！』を話され、コロモーショントレーニングの『片足立ち』左右1分間1日3回などを紹介されました。

このほかにも、創外固定器を使った治療、側弯症に対する手術、関節リウマチによる『く』の字に曲がった膝の人工関節置換術、ウサイン・ボルト選手の腰椎側弯がもたらした好影響について、自動車事故による右足根部切断の縫合手術など大変分かりやすくお話していただき、



▲土屋弘行先生



▲満員の会場

最後に聴講者からいろいろな質問をうける確に説明されていました。土屋先生のお話は、参加者を巧みな話術で釘づけにした大変素晴らしい公開特別講演でした。

(広報員 佐藤裕之)

## 東海地域

### 三重県

#### 第20回柔整師杯県下少年柔道大会 第1回柔整師杯 県下少年柔道形競技会

平成26年6月22日(日)、三重県営伊勢サンアリーナにおいて、標記大会が開催されました。

開会式前30分間にわたり、昨年10月開催された『第22回日整全国少年柔道大会』『第3回日整全国少年柔道形競技会』の様様を場内大スクリーンで紹介しました。

午前9時30分橋本柔道部長の開会の辞、伊藤和夫会長挨拶、ご来賓の中川正美三重県議会議



員挨拶後、6年生の新井総馬選手(久居柔道教室)・並木あのん選手(三重武道館)2名による選手宣誓後『第1回柔整師杯県下少年柔道形競技会』が開催されました。県内8地区から8組が参加し「投の形」の演技を行いました。その後『第20回柔整師杯県下少年柔道大会』に移り、県内の道場・柔道教室から300名が参加し、小学4・5・6年生男女別による個人戦6部門で頂点を目指しました。

試合が始まると、会場内は保護者や指導者の盛んな声援で熱気につつまれました。

救護の部門では、これからの時代の流れとして柔道大会における事故発生時の対処方法として医師の配置は必要不可欠であるとの判断により、従来からの本会救護班に加え、堂本洋一伊勢慶友病院院長(脳神経外科医)にお越しいただき、救護活動を担当していただきました。

各部門決勝戦・全国大会選手選考試合後、形競技会の審査員を務めていただいた(取)脇田章敬氏(受)深美幸治氏による「投の形」が演武されました。

今回の柔道大会各部門の上位4名と形競技会優勝ペアは、7月27日(日)岐阜県で開催される『柔整師杯第11回東海少年柔道選手権大会』(個人戦)と『第4回東海少年柔道形競技会』へ出場します。

また10月13日(月・祝)講道館で開催される『第23回日整全国少年柔道大会』(団体戦)には4年生=和田雄翔君(菰野柔道教室)、5年生=筒井稜亮君(松阪市武道館)、木村玄紀君(久居柔道教室)、6年生=中村心君(さざれ道場)、加藤公央君(かわごえ柔塾)の5名が三重県チームとして出場します。



(広報員 伊藤昌夫)



## 近畿地域

### 兵庫県

#### 第30回兵庫県柔道整復師会 少年柔道大会

平成26年7月6日(日)、標記大会が、グリーンアリーナ神戸で開催された(=写真)。

柔道で児童の豊かな心と体を育てることを目的に“いつまでも夢をもち大きく伸びよ”をスローガンに掲げてスタートした大会も今回で30回目を迎えた。

大会は、県内各地の柔道教室や道場から、男女小学生584名122チームが高学年67チーム・低学年55チームに分かれ、トーナメント形式で行われ、監督やチームメイト、家族の声援を受け熱戦が繰り広げられた。

高学年の部決勝は、過去5回優勝の「兵庫少年こだま会」と初優勝を狙う「二見少年柔道クラブ」の対戦となり、「二見少年柔道クラブ」が初優勝を勝ち取った。低学年の部決勝は、今回で4年連続となる「二見少年柔道クラブ」と「広畑柔道教室」が対戦し、高学年に続き「二見少年柔道クラブ」が連覇で3度目の優勝を飾った。

その後、日整全国少年柔道大会に出場する兵庫県代表選抜メンバーを決める個人戦が行われ、4年生 中村乾渡君(二見少年柔道クラブ)・5年生 所谷一平君(龍野若竹会)と住谷蓮君(二見少年柔道クラブ)・6年生 常陰司竜君(社柔道少年団)と本田祥万君(二見少年柔道クラブ)の5選手が、兵庫県代表選抜チームとして10月に講道館で行われる日整全国少年柔道



大会の代表に選ばれた。

#### ★大会結果★

##### 高学年団体

優勝 二見少年柔道クラブ(東播地区)

準優勝 兵庫少年こだま会(神戸地区)

第3位 土曜柔道会(阪神地区)

第3位 龍野若竹会(西播地区)

##### 低学年団体

優勝 二見少年柔道クラブ(東播地区)

準優勝 広畑柔道教室(西播地区)

第3位 黒田庄柔道少年団(東播地区)

第3位 土曜柔道会(阪神地区)



▲兵庫県代表選手

(広報員 本田 崇)

## 四国地域

### 香川県

#### AEDの設置施設拡張を進める

本会館にはAEDを2台設置して柔道試合などでは救急担当員が待機している。現在、私たち会員の接骨院内にはAED設置を積極的に進めている。緊急時の医療にどう携わり、どこまで私たちは、その責務を担えることが可能か、多数の会員がこの緊急医療への取り組みに意欲を燃やしている。

南海トラフ巨大地震災害の発生がいわれている現状を的確に把握し、本会は県民、地域住民への公益性のある医療の模索をより広い範囲で試みなければいけないと思っている。

## 第23回日整全国少年柔道大会・第4回日整全国少年柔道形競技会香川県予選

平成26年7月20日(日)、午前9時から本会柔心館道場にて標記の試合・競技会が開催された。香川県内から選抜された形競技7チームまた、それぞれ各地域から選ばれた代表選手が出場した。

浪越琢視副会長が開会の辞を行い、石原誠大会会長は「日ごろの鍛錬した力を出し切り、悔いのない試合をしてほしい」と挨拶を述べた。

続いて香川県柔道連盟の松本澄夫会長また宮本欣貞香川県議会議長のご臨席の上、選手たちへの激励の挨拶をいただいた。松本裕司審判長より形については「礼法・所作・技の崩し・作り・かけ、そして、相手を投げ切る形を心掛けてください」との説明があった。

形の競技審査の結果、取・宮本真登、受・大西晃洋選手(宇多津体協)が高得点で優勝した。また個人リーグ戦で試合が行われ、(4年生)秋山大季、(5年生)藤本勝己、寺尾虎喜、(6年生)花崎凱阿、中井瞭、各選手が選抜された。香川県柔道連盟田中孝司副理事長の講評のなかで、「勝ったからといってガッツポーズなどしない、相手を尊重することが武道である」、また「オリンピック選手になれるよう努力してほしい」というお話があった。これは本会の願いでもある。神高敏伸副会長の閉会の辞で終了した。



▲出場選手

(広報員 武田雄児)

## 愛媛県

### 保険・学術研修会

平成26年6月8日(日)、10時から標記研修会がエスポワール愛媛文教会館4階研修室において、会員61名により開催された。

保険部佐藤佳孝委員の司会進行で浜野士朗会長が「皆さんおはようございます。本日は朝早くから出席いただき誠にありがとうございます。平素は会務にご協力賜り厚くお礼申し上げます。本会も4月1日から公益社団法人に移行し業務を遂行いたしております。移行に関しても皆様の多大な協力の下、無事移行でき感謝いたしております。3月20日付で厚生労働省保険局長より4月1日から『柔道整復師の施術に係る療養費の算定基準』が変更となりました。労災ならびに自賠責も変更となりましたので事務処理等誤りのないようよろしくお願いいたします。先日、日本柔道整復師会も60周年を記念して『はつらつ!健康“ほねつぎの知恵袋”』という本



▲三橋日整保険担当理事



▲高橋知巳会員

を発売され国民の健康づくりに一役果たせたものと確信いたしております」と挨拶された。

保険研修会は「柔道整復療養費の現状について」と題し、(公社)日本柔道整復師会三橋浩之保険担当理事を講師に迎え講演していただいた。

講演では柔道整復師の現況、(公社)日本柔道整復師会の動き、平成26年料金改定の付帯事項、保険者・組合健保の厳しい対応、よくある質問、交通事故自賠責保険について、地域包括ケアなど、画像を見ながら説明され、会員からの質問にも分かりやすく説明していただいた。

学術研修会では「アシカくん体操の骨盤後傾への効果」と題して本会の高橋知巳会員が発表され、近年スポーツ外傷で来院する若年層に背部の機能的障害が見られる症例にしばしば遭遇する。正しい姿勢などに対する自己意識不随等が増加しているのが原因である。何か改善する方法はないか考えアシカの動きの方法により改善策を試み報告され、施術に関しても画像を見ながら説明され無事終了した。

(広報員 井関澄男)

## 九州地域

### 佐賀県

#### 「さが桜マラソン」 2014.4.6救護ボランティア活動

「さが桜マラソン」は、1989年ハーフマラソンで始まり昨年からフルマラソンとなり今年2回目、国内外からフルマラソン8,316人、ファンラン(10km)を含めると1万人が参加する大会となりました。

招待選手として世界選手権代表の川内優輝選手(埼玉県庁) ゲストランナーとして尾崎好美さん・君原健二さん・柳川春己さん(パラリンピックマラソン出場)も参加されました。

佐賀新聞主催の「さが桜マラソン」では、ボランティア3,000人、約7万人の沿道応援が選手を支え、当会のボランティア団体も「接骨・整骨ボランティア佐賀」が27名、九州医療専門学校(福岡県)の学生15名、総勢42名により吉野ヶ里歴史公園と水ものがたり館の2ヶ所の救護所におい

て、ストレッチやテーピング、アイシングなどによるコンディショニングケアを施行、両救護所合わせて380人のランナーが利用されました。

吉野ヶ里救護所は、公園内の屋根付き休憩所の側面を厚手のビニールで被い中に簡易ベッドを持ち込み特設救護所として完成。また、水ものがたり館では急遽救護室として研修室を開放していただき暖かい室内での活動ができ、ランナーだけでなく我われもスムーズな施術ができました。

本コースは、平坦なコースということもありますが、当日は少し風があったものの晴天でランナーにとって良好なコンディションであったため、約9割超のランナーが完走されたとのこと。

タイム・ストップ後の後片付けの際には、他のスタッフから「ありがとうございました。助かりました」との声を多数いただき、我われも微力ながら協力できたのではと、胸をなでおろした。来年も他の多くのボランティアの方々と一緒に、大会を盛り上げるお手伝いのできたらと思っております。



▲吉野ヶ里救護所



▲水ものがたり館救護所

◎救護場所：23.5km 地点第3 救護所（吉野ヶ里歴史公園内）

活動時間：8：00～14：00

佐賀県柔道整復師会救護ボランティア吉野ヶ里メンバー 11名

九州医療専門学校学生ボランティア 8名

救護人数：220人

◎救護場所：36.8km 地点第7 救護所（水ものがたり館）

活動時間：8：30～15：30

佐賀県柔道整復師会救護ボランティア水ものがたり館メンバー 16名

九州医療専門学校学生ボランティア 7名

救護人数：160人

## 第29回中学生柔道錬成大会

平成26年5月11日(日)、県総合体育館で、当会主催の標記大会が開催された。

柔道を通じ子供たちの健全育成と地域貢献を目的に始まった大会で、県内中学41校男子224名、女子50名、計274名が出場。

楠本利巳副会長の進行により古澤均事業部長の開会宣言に続き、富永敬二会長より「今年度最初の県レベルの大会であり、正々堂々と悔いのない試合を期待している。また、勝敗を離れ



▲選手宣誓

ても柔道を通して友情を深めていただきたい」と挨拶があった。

また、来賓祝辞として今村雅弘衆議院議員、福岡資麿参議院議員より当会への感謝と励ましの言葉をいただいた。そして、中学生のときに当大会に出場し現在佐賀県警察に勤務をされ全日本大会に出場された樋崎誠選手も中学生選手に「2020年には、東京オリンピックが開催されます。今は、基本をしっかりと身に付け頑健な身体と何物にも負けない精神力を持ってオリンピックを目指してください」とエールを送った(=写真)。



少子化の影響や各地区の体育祭と重なったり、毎年選手人口が減っていたが今回の出場選手は昨年より22名増え会場は関係者・マスコミや保護者の応援に包まれ好試合が続いた。

また、ボランティア委員、手塚憲市部長ほか4名が試合前のテーピング処置や試合中の怪我に対し適切な対応に当たった。

昨年に続き受付と試合会場には、今年で4回目となる東日本大震災義援金箱を設置し呼び掛けを行い、被災地の方々の力となるよう託された義援金と我われ県柔道整復師会からの補填分の合計を復興支援義援金として佐賀新聞社の佐賀善意銀行へ預託した。

(広報員 小嶋利博)



## 半世紀ぶりの産声 ～コウノトリが舞う里づくり～

公益社団法人福井県柔道整復師会 熊田 克典

ヨーロッパでは、コウノトリは「赤ちゃんを運んでくる鳥」といわれています。

日本でも古来より、幸せを呼ぶめでたい鳥とされてきました。しかし、江戸時代までは人間と共生してきましたが、明治以降の密猟・水田整備・農薬散布などで生息環境が悪化して激減。1971年、日本固有の野生のコウノトリは絶滅しました。

兵庫県豊岡市では人工飼育し成鳥を自然に返す放鳥が行われていますが、私たちの故郷、福井県越前市内でも人工飼育が行われ、ついに先日、つがいに待望の赤ちゃんが3羽誕生しました。福井県内では半世紀ぶりのコウノトリの誕生です。

今回、福井県と地元住民の皆様が、コウノトリの舞う里づくりを目指して取り組んでいる“コウノトリプロジェクト”について、ご紹介いたします。

同プロジェクトの福井県安全環境部自然環境課の木村美貴獣医師に、その取り組みについて以下のとおりお聞かせいただきました。

福井県では、越前市白山地区において、平成23年12月から兵庫県との共同研究として、兵庫県立コウノトリの郷公園からつがいのコウノトリを借り受け、飼育繁殖の取り組みを始めました。越前市白山地区住民のご協力を得ながら、県および越前市の職員がコウノトリの飼育に当たっています。

借り受けたコウノトリのつがいは「ふっくん」「さっちゃん」の愛称で親しまれており、飼育3年目を迎えた今年、ついに3羽のヒナをかえしました。しかしその道のりは決して平坦なものではあ



▲ヒナたち

りませんでした。

飼育1年目（平成24年春）は産卵がないまま繁殖期が終了、2年目（平成25年春）は5個の卵を産んだものの全て無精卵でした。そして3年目の今年、2個産卵しましたが残念ながら無精卵でした。そのため兵庫県から3個の有精卵を譲り受け、ふっくんさっちゃんに抱卵させたところ、無事3つの命が孵化したのです。福井県内でのコウノトリのヒナの孵化は、昭和39年に小浜市で野外のコウノトリペアの元に生まれて以来、実に50年ぶりの快挙でした。

7月中旬現在、3羽のヒナは日に日に大きくなり、黒い風切羽が伸びはじめています。生まれたばかりのころはバランスを崩してひっくり返っていることもありましたが、脚も丈夫になり、成鳥のように立ち上がり、巣の中を汚さないように外に向かってフンを飛ばすこともできるようになりました。ヒナたちは巣立ちまでのあと1ヶ月を、巣の中で過ごす予定です。

まだ小さく頼りないヒナたちですが、近い将来、その翼に福井県の大きな期待を乗せて羽ばたいてくれることを夢見て、コウノトリプロジェクトは進んでいくとのことでした。

（写真は、福井県安全環境部自然環境課の提供です）



▲コウノトリ

本の紹介

## 分子と心の働きを知れば 本当の健康法がわかる

学術部 寺本 欽弥

今回ご紹介する本は次世代の医学として物理学領域の「量子」を医学に応用した「量子医学」に関するもので量子波である「テラヘルツ波」について書かれた本です。

40年近く主として大学病院で近代医学を用いて前立腺癌、膀胱癌等の患者さんを治療してきた泌尿器外科である著者が、西洋医学、東洋医学、気功、ヨガ、食生活の研究など多岐にわたる研究と経験により身体を構成している分子、そしてその最終形態である量子に着目されヒトの病気は結果として量子場の乱れが大きく関与しており、それを修復し治療するための方法としてテラヘルツ波が有用であると説かれています。

本書ではまず代謝メカニズムから活性酸素などのフリーラジカルというものが身体に及ぼす影響を解説され、そのフリーラジカルを効率よく取り除く一つの方向としてテラヘルツの利用が有効であるとしています。フリーラジカルが大きく関わる癌疾患についてもテラヘルツの有用性が記されてあります。また心は量子波の表現形であるとして心と身体の関係性の大切さにも触れてあります。現在、著者は「SHIMA量子医学研究所」を開設され、テラヘルツ波を用いて癌治療、認知症など神経ネットワークの再生治療を行っておられます。

医療の進化に併なって、我われの治療分野でも新しい治療法や機器が生まれています。日本オリンピック委員会は選手のケアのために、ソチオリンピックで高周波治療器を導入しました。最近では、そのラジオ波という高

周波を用いた機器の導入が我が業会でも始まっています。私がこの本に注目したのは、このテラヘルツ波を用いた量子医学の可能性が非常に広きにわたり、テラヘルツ波が細胞レベルでの変化を起こすことなどから運動器疾患にも効果があり我われの業界にも改革をもたらす可能性があるのでは？と思ったからです。難解な語句もありますが新しい発想から生まれた治療であり、良い刺激を与えてくれる本であります。



著者：島博基  
発行：パレード  
発売：星雲社

A5判 174ページ

定価：1,429円＋税

## 私の夢

### 『私がいつにいつに理由』



北信越柔整専門学校昼間部2年 金成 友美

「福島県いわき市から来ました。金成友美です」  
そう自己紹介をすると、何割かの人にこう尋ねられる。「石川県には避難してきたの?」

『福島県から来た』という言葉から連想してそう思うのだろうか。しかし、私は決して避難のために石川県へ来たのではない。柔道整復師になるためにここに来たのだ。

私は小学校から高校まで、体育の授業以外は運動に関わらないで過ごしてきた。

父は牧師。母は保育士。祖父母や親戚にも柔道整復師はいない。

そんな私が柔道整復師という職業に興味を持ったきっかけは、4年前の東日本大震災だった。

震災後、私は父をはじめ多くのボランティアの方々と一緒に、休日はいわき地区の支援活動に参加していた。その中で「避難所となっている小学校の体育館に行き、手技により避難者にケアサポートをしながらその人の話を聞く」という活動があった。当時高校2年生になったばかりだった私はその活動を通して、まず人に手技を施すことに興味を持った。昔から肩もみやマッサージ、ストレッチを人にするのが好きで、それが仕事にな

れば楽しそうだと。インターネットで人に手技を施す業務の仕事を探しているような職業が出てきたが、当時一番興味の薄かった職業は柔道整復師だった。

転機はそれから半年後。仮設住宅の集会所で手技により避難者にケアサポートを施す支援活動に参加したときだ。手技によるケアサポートを避難者に施すことは東京から来た数名の柔道整復師がしてくれることになり、私は会場の設置を手伝っていた。

自分の手が空いたときに手技によるケアサポートを見学に行くのだが、私には柔道整復師の先生が行う手技の意味が理解できない。一見関係ないと思える部位を押ししたり伸ばしたりしているのに、施術を受けた人は「痛かった場所から痛みが引いた」とか、「動かしにくかった場所が動かしやすくなった」と言っただけだ。

その光景を不思議に思い調べて行くうちに、柔道整復師が手技やストレッチ、機能訓練だけでなく骨折・脱臼・捻挫・打撲など大きな怪我への施術ができることを知った。それまで接骨院・整骨院に行く機会などなかった私にとって、それは衝

撃的だった。

柔道整復師になれば、痛い思いをして困っている人に手当をして癒すことができる。これは何て素晴らしい職業だ。

それまで何の目標もなく日々を過ごしていた私は、そのときに将来の夢を見つけた。

そこから紆余曲折を経て、私は石川県金沢市にある北信越柔整専門学校へ入学した。

数ある学校の中からこの学校を選んだ理由は『実家から遠い』からだ。実際、実家から学校までには516キロの距離がある。

前記のとおり、私は運動をせずに生きてきた。これから運動、それも柔道を始めるにあたって、

学校が家から近ければすぐ心が折れて帰ってしまう。自分を追い込むためにもなかなか帰ることのできない距離に行きたかった。そして都合の良いことに石川県は母親の出身地。両親もそこまでなら、と実家を離れることを認めてくれた。

学校に入学し、柔道だけでなく勉強も予想以上に辛いことを知った。しかし私はまだ心が折れず石川県に留まっている。それどころか、意地でも資格を取ってやる!と日に日に思いが強くなってゆく。

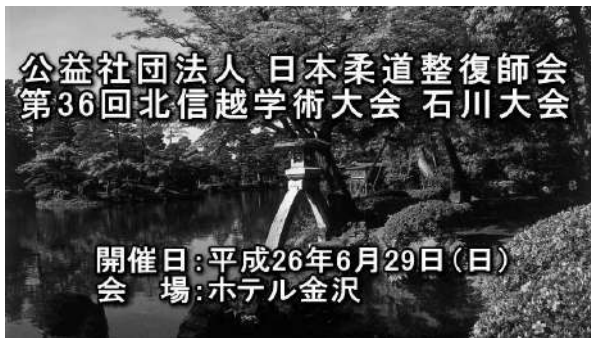
私の夢は、立派な柔道整復師になり、たくさん人の力になること。そして、災害が起こった際、今度は私が柔道整復師の職種を活かして被災地へ支援に行くこと。

まずは一つ目の夢を意地でも叶え、そして二つ目の夢のために備えたい。

公益社団法人日本柔道整復師会  
第39回中国学術大会 山口大会  
第36回北信越学術大会 石川大会  
会員発表（ハイライト）動画配信

日整学術部では、ホームページ上におきまして全国各ブロック学術大会発表の動画を配信しています。

今回は、平成26年6月15日(日)に山口県 ホテル松政で開催されました第39回中国学術大会山口大会と、6月29日(日)に石川県 ホテル金沢で開催されました第36回北信越学術大会石川大会の会員発表を配信いたします。



(動画再生期間 2014年10月1日～11月末)

【動画の見方】

日整ホームページ (<http://www.shadan-nissei.or.jp/>) にアクセスし、 の後

学術部→学術大会会員発表動画 または

→第39回中国学術大会 山口大会

→第36回北信越学術大会 石川大会

をクリックしていただくことでご覧いただけます。

ユーザー名・パスワードは日整事務局（電話 03-3821-3511）にお問い合わせください。



## 日整HPからご覧いただけます

### 【学術部】

1. 日整主催学術大会一覧
  - ・平成26年度公益社団法人日本柔道整復師会主催学術大会一覧
2. 学術大会会員発表動画一覧
  - ・平成24年度・平成25年度日整主催学術大会会員発表ダイジェスト動画一覧
3. 富山大学寄附講座
  - ・富山大学寄附講座活動報告 Vol. 6
  - ・富山大学寄附講座大学院修士課程入学案内
4. 「柔道整復学」専攻区分「学士」を目指す方へ
  - ・独立行政法人大学評価・学位授与機構について
  - ・科目等履修生制度の開設大学一覧 ほか
5. 「学術シリーズ」原稿募集
6. 生涯学習単位取得報告
  - ・平成24年度生涯学習・ボランティア活動単位取得報告
7. 平成25年度生涯学習単位取得報告書
  - ・平成25年度生涯学習単位・ボランティア活動単位報告書（ダウンロード可）
8. 平成25年度学術・生涯学習講習会報告
9. 「骨継ぎの知恵袋」アイデア募集
10. 公認私的研究会
  - ・公認私的研究会一覧

### 【国際部】

1. 学術大会における国際部活動報告
  - 草原に架かる虹を追ってーモンゴルでの記録ー
  - 第36回北信越学術大会 石川大会【動画配信】
2. 「日本伝統治療（柔道整復術）指導者育成・普及プロジェクト」情報
  - ・NHK国際放送（NHK-WORLD）“Side by Side”にて本プロジェクトを取り上げた番組の放送が決定いたしました。詳しくは国際部のページをご覧ください。
  - ・第1回日本研修中間報告会
  - ・第1回日本研修閉講式
  - JICAのホームページにも日本研修閉講式の記事が掲載されました。  
<http://www.jica.go.jp/tokyo/index.html>
3. 柔道グラウンドスラム東京大会2014  
柔道国際医科学シンポジウム発表者募集のお知らせ
  - 上記柔道国際医科学シンポジウムの発表者を募集いたします。研究成果の発表の場として、また海外の医科学研究者とディスカッションできる場として有意義なシンポジウムです。多数の応募をお願いいたします。
  - 募集締め切り：平成26年10月24日（金）
4. チングスハーンの国
  - 柔道整復術を指導する講師としてモンゴル国を訪問した体験をご紹介します。紙面に入りきらなかった写真も掲載しております。

## 【日整HP「会員ページ」へのアクセス方法】

日整ホームページ（<http://www.shadan-nissei.or.jp/>）にアクセスし右下の **ログイン** をクリックすることでご覧いただけます。

パスワードは所属社団名と氏名を告げて、日整事務局（03-3821-3511）にお問い合わせください。

## 機関誌「日整広報はつらつ」掲載向け 「学術シリーズ」の原稿募集について

日整学術部では、柔道整復師の優れた技術を幅広く国民にも分かりやすく紹介する目的で、機関誌“日整広報はつらつ”とホームページに「学術シリーズ」を掲載しております。

論文形式にとらわれないで、一般の方々にも分かりやすい内容で、皆様が日々の施療で活用され「これは効果がある！」と思われる技術などを下記要項にてご応募ください。

記

### 機関誌“日整広報はつらつ”「学術シリーズ」の投稿規程

1. 投稿原稿の内容 日々の施療で活用している有効な施療方法で、早期回復の技術や疼痛の緩和方法など、患者様の訴えや日常的問題をタイトルにさせていただいて結構です。  
(日整広報はつらつ掲載)
  - ・原稿はA4版で横書き、ワードなどで作成する。
  - ・文字数は2,000～2,500字程度。(日整広報はつらつ2ページくらいを限度に)
  - ・スライド(写真)数は5枚以内(ホームページ掲載)
  - ・原稿はA4版で横書き、ワードなどで作成する。
  - ・文字数・スライド(写真)数は制限しません。
2. 投稿資格 公益社団法人日本柔道整復師会会員に限る。
3. 投稿原稿の採択 公益社団法人日本柔道整復師会学術部において決定する。
4. 応募締め切り 第26回選考平成26年10月末日・第27回選考平成26年12月末日  
第28回選考平成27年2月末日・第29回選考平成27年4月末日
5. 送付方法 原稿およびデータを郵送またはメールにて送信ください
6. 送付先 〒110-0007 東京都台東区上野公園16番9号  
公益社団法人 日本柔道整復師会 学術部宛  
電話 03-3821-3511 FAX 03-3822-2475  
E-Mail Address: gakuju@shadan-nissei.or.jp
7. 著作権 “日整広報はつらつ”に掲載された著作物の著作権は公益社団法人日本柔道整復師会に帰属する。
8. その他 ご不明な点は日整学術部までお問い合わせください。

## 学術・生涯学習講習会開催のお知らせ

公益社団法人日本柔道整復師会「第22回学術・生涯学習講習会」を下記の日程で開催予定です。ご家族やお知り合いの方もお誘いの上、ご参加ください。

日 時：平成26年10月12日(日) 正午  
会 場：日本柔整会館 〒110-0007 東京都台東区上野公園16-9  
入 場：無料

公開講座プログラム（プログラム内容は変更する可能性があります）  
学術講習会

- ・富山大学寄附講座報告会 講師／西条寿夫 富山大学大学院教授
- ・会員発表 佐々木忠之 会員（北海道）

生涯学習講習会

- ・全国ボランティア活動報告 公益社団法人愛媛県接骨師会
- ・特別講演 講師／小笠原流礼法宗家 小笠原敬承斎 先生  
演題／日常に活かす武士の心得

申込に関するお問合せ

公益社団法人日本柔道整復師会事務局

FAX：03-3822-2475 Mail：gakujutu@shadan-nissei.or.jp

### ◆原稿締切日は奇数月20日です◆

〈投稿される会員へお願い〉

ワードまたは一太郎などで作成された原稿の場合は、そのファイルをメールでご送付ください。

★編集会議の結果、投稿の内容により未掲載となる場合もありますのでご了承ください。また「投稿」の場合、必ず日整広報原稿と記入または入力してください。

★投稿文は各都道府県事務所を通して応募ください。

★原稿・投稿者名にはふりがなをお願いします。

宛先：“日整広報”<kouhou@shadan-nissei.or.jp>

日整広報はつらつ発行日と原稿締切

※原稿の締切厳守をお願いします。（広報部）

号 数	229号	230号	231号	232号	233号	234号
原稿締切	9月20日	11月20日	<small>平成27年</small> 1月20日	3月20日	5月20日	7月20日
発 行	11月20日	<small>平成27年</small> 1月20日	3月20日	5月20日	7月20日	9月20日

# 日整文芸

(作品は1人3首〈句〉までといたします)

## 【短歌】

福岡県 山下 智章

夏来れば子供の頃を思い出す  
風の香りと麦藁帽子

天の川大地に雨を降らし時

水無月と成り田畑潤す

秋風に苦瓜の葉は枯れしらむ

祖母見らぬよう水菜を植えし

## 【俳句】

群馬県 鈴木 乗風

蝉しぐれ

綿菅の雨滴まとへり銀の鈴

夜明けはや三国街道威し銃つづ

鎌倉円覚寺小津安二郎眠る

蝉しぐれ縁の墓碑に誰が供華を

東京都 伊藤 正信

生ビール飲む妙齢の喉仏

桃に指触れてしまるし悔く少し

大きくて武骨なる種桃にして

福井県 田上 滋良

## 紫陽花

蛍や限界集落人を呼ぶ

紫陽花や口からぼんと変り玉

父の日やタンスの中に父在りし

香川県 伊勢 豊郎(豊生)

卒寿来て夢々夢の未来舟

鳴門うず強き力を我にくれ

孫の夢医学の世界ではばたけり

## 【川柳】

北海道 阿部 篤夫

鯰あがるオホーツク海温暖化

雲丹採れぬ流水氷減ったオホーツク

値が上がる秋刀魚不漁の北の海

石川県 東 勝一

山歩き木の根が足を守ってる

急登では小鳥の声が後押しを

誰もいない虫の羽音のおもてなし

## 〔一般投稿〕

## 【短歌】

奈良県 長谷川治三郎

## 花影

雨の中重たげに咲くアジサイや

梅雨に色あい人はたちどむ

山ゆりよ清楚に咲きていくつにも

初夏の花は我姿みせ

雨の中しづく光りてかきつばた

池に咲きそう夕の姿や

## 【川柳】

高知県 かおる

割箸を割ると木の香が弾け出し

りんごかじれば津軽の雪が見えてくる

ティータイム風の和音を聞いている

## 「日整文芸欄では一般の方々からの投稿を募集しております」

### 広報部

日整文芸は、会員の方に加え、一般の方々からも「短歌」「俳句」「川柳」を募集します。一般の方の投稿は、日本柔道整復師会会員を通じて、都道府県名、紹介会員名および連絡先、作品提出者名を明記の上、ご応募してください。

日整文芸を通じて読者の皆様とよい交流の場となればと願っております。

作品は会員と同じく1人3首〈句〉までといたします。多くのご応募をお待ちしております。

宛先 〒110-0007 東京都台東区上野公園16番9号  
公益社団法人 日本柔道整復師会広報部  
TEL: 03-3821-3511 FAX: 03-3822-2475  
E-mail: kouhou@shadan-nissei.or.jp

## 編集後記

■熱い甲子園の戦いも済み勝者、敗者、応援する人、感動の涙、涙でした。1回きりで負ければこれ以上進むことが不可能な高校野球。それだけに一球入魂で頑張ります。今は、選手たちは出場できた幸せをかみしめていることでしょう。

私たちの仕事も患者さんと向き合うときは真剣勝負です。患者さんの一言一言を聞きもらさず傷病などを判断しなければなりません。野球は毎日毎日の練習から成果が表れます。私たちは日々の学習から患者さんの信用が得られます。涼風が広がり勉学の秋です。学会も開催されます。そしてスポーツの秋、食欲の秋です。実りの秋を楽しみたいと思います。(晴天雀)

■総務省の調査によると、空き家が全国で820万戸、住宅総数の13.5%も占めて過去最高だそう。

家があっても、住む人がいないようだ。わが家のお隣さんも、子供たちがそれぞれ独立し、お爺ちゃんが亡くなり、お婆ちゃんは介護施設へ。屋敷は草が生え荒れ果ててしまった。ほんの近くのお隣さん、最近お婆ちゃんが亡くなり、残ったのは65歳の独身お兄ちゃん？ 東京オリンピックに向けてリニア新幹線の開通を目指し、名古屋駅では地下50mに駅を作ろうとしている時代に、何とも寂しい話ではないか。(多毛家)

■私の娘がマネージャーを3年間勤めた野球部が、1年生に入ったときは県予選でベスト4まで行き、3年生メンバーが抜けると、その後は1点すら相手チームから奪うことのできないほどの弱小チームになってしまった。しかし巻頭言に出てきた大逆転したチームの「笑えば前向きになれる」「必笑」のように「笑いヨガ」「爆笑」を取り入れると夏の県予選は2試合で11点も取れるチームに急成長した。2回戦で負けてしまったが、「心」も取り入れて頑張った3年間の努力は人生に大いに生かされると思う。日本研修閉講式の工藤会長の挨拶にも「人に対する思いやり、感謝の気持ち」とあるが、いかに

「心技体」の心が大事か改めて思った。

(家真舵)

■光輝く満月スーパームーンを数ヶ月前から楽しみにしていた。台風11号の影響で夢は儚く消えた。今年のスーパームーンは7月12日、8月10日、9月9日の3回見れるとのこと、特に8月が最も大きく見え、通常の満月に比べたら、大きさが14%、明るさが30%増しとのことだったので非常に残念だった。

月の軌道が楕円であるため今回、月と地球が最も近付く距離が35万6,577kmで、最も遠い距離は41万kmなので、かなりの遠近差がある。しかし、月が出始めた低い位置と、夜半真上に見る月の大きさが違って見えるのは、目の錯覚らしい。世の中、何事も見るとき、目の錯覚に惑わされず真実だけを見続けたい。(魅家下)

■柔整サロン「柔道整復師の未来のために」の中で、富山大学大学院に柔道整復(神経・整復)



学講座の西条教授の話の中で、大学評価学位授与機構に28番目の学問として柔道整復学が公認されたことは、胸を張って「柔道整復学の確立」と主張できるものとする。

公式に用意された器に「柔道整復学」を育む気持ち、エネルギーを注入し発展させるの

は一人ひとりの柔道整復師の意識次第となる。

これだけのことを目にして、何も感じない柔道整復師はいないだろう？(尾座和)

■モンゴル国内において柔道整復術を指導できるように、モンゴル人研修生を育成するための日本研修が終わった(P9~17)。その閉講式の挨拶で、研修生を受け入れた栗原整形外科医院院長の栗原友介先生は「私は整形外科の看板を掲げておりますが、『栗原ほねつぎ整形外科』としたいくらい柔道整復師の先生方と縁があります。モンゴルで役立つのは、手術をしないで骨折を整復する保存療法が得意な柔道整復師です」と語り、その技術の発展を期した。身に余る光栄である。柔道整復学の構築とは、理解ある整形外科の先生の協力を得て骨折の保存療法を研究し、独自の技術を案出していくことにあると思う。(多夢楽)

〈表紙解説〉

美人林(びじんばやし)

公益社団法人新潟県接骨師会 星 真奈美

新潟県中越地方の山間部にある十日町市松代・松之山には、日本の原風景と呼ばれる柵田や茅葺き民家が姿を残し、全国の写真愛好家を魅了しています。また美しいブナ林も年間十万人が訪れる人気スポットとなっています。

昭和初期、木炭用に伐採され裸山になった丘陵の約3ヘクタールに、山に落ちたブナの実が芽吹き、若木が一斉に生え出し成長しました。現在、樹齢九十年のブナの樹木が立ち並び、昭和五十年代から地元では、スラリとした立ち姿から「美人林」の愛称で親しまれてきました。

春は、残雪の中から萌木色の若葉が芽を吹き、夏は、林の外より2度低いといわれる爽やかな風の中で森林浴を楽しみ、野鳥のさえずりに耳を傾け、秋には紅葉が、そして豪雪地帯の厳しい冬を迎えます。よく晴れた放射冷却の起る朝には、太陽の光を受けてダイヤモンドのように輝く樹氷を見ることができそうです。

美人林が注目されるようになったのは、この林でNHK交響楽団がコンサートを開催したことと、地元の写真家である佐藤一善氏の、林を題材にした写真が認められ、全国各地で個展を開催したことによるともいわれています。佐藤氏にとって「写真道場」であった美人林に、私も年に数回訪ねます。

撮影の日は曇りで、有名になってしまった林の中には、観光客やアマチュアカメラマンなどの先客がありました。彼らが写り込みながら撮影を始めると、「晴れそうもない」「今日はダメだ」そんな言葉を残して、その人たちが立ち去って行きました。数分後、誰もいなくなった林の中に雲が切れ、黄金の太陽の光が差し込み、夢中でシャッターを切っているうちに一瞬の光芒が終わります。カメラと三脚を手に車に戻る私の目に映ったのは、大型バスから降りてくる団体客の姿でした。



平成26年9月20日発行

公益社団法人 日本柔道整復師会

〒110-0007 東京都台東区上野公園16-9

電話 (03)3821-3511 (大代表)

発行人 工藤 鉄 男

編集者 永田 官 久

制作・印刷所 東京リスマチック株式会社

光と音で知らせます♪

# 治療点の探索



(原寸大)



# ココロケータ

**新発売**

治療点検索測定器

管理医療機器(特定保守管理医療機器) 販売名:セイリンロケータ 医療機器認証番号:225AABZX00195000

微弱な探索電流により皮膚に刺激を与えることなく、  
治療点(低電気抵抗点)を探索します。

**機器構成**

本体、探索導子・握り導子

**使用目的、効能又は効果**

皮膚の電気伝導によって患者の皮膚で生じる  
導電率を測定及び確認すること。

**機器原理**

内部電源による治療点検索測定器で、微弱な  
探索電流により皮膚に刺激を与えることなく  
治療点(低電気抵抗点)を探索します。

**製品仕様**

定格電源	DC9V、006P型電池(6F22、6LR61または同等品)
出力電流	14.6 $\mu$ A(50k $\Omega$ )、13.3 $\mu$ A(100k $\Omega$ )、5 $\mu$ A(1M $\Omega$ )
出力電圧	0.73V DC(50k $\Omega$ )、1.33V DC(100k $\Omega$ )、5V DC(1M $\Omega$ )
出力周波数	DC
本体の寸法	幅61mm、高さ100mm、奥行き35mm
ケーブル長	1.53m(導子の長さ含む)
重量	75g(本体のみ)、約185g(総重量)

■製造販売業者

**セイリン株式会社**  
ISO13485 認証取得

〒424-0037 静岡県静岡市清水区袖師町1007-1  
TEL.054-365-5700 FAX.054-365-5139  
<http://www.seirin.tv>

**0120-100890**  
(通話料無料ダイヤル)

赤外線治療器

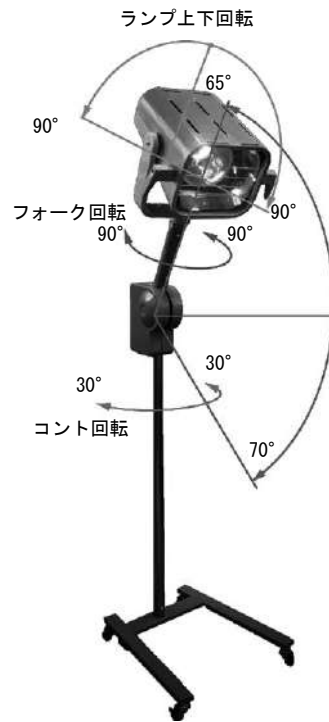
# SKIP-SERIES



— 抜群の操作性と軽さで芯から暖める —

www.tama-ray.com

## SKIP-Boy



品番	TRS-D1
赤外線ランプ	300W
懸乗方式	スプリング
ランプ下70°時	床から約50cm～60cm
タイマー	0～30分連続可変
光量調整	0～97V連続可変
電源	単相AC100V 50-60Hz
外形寸法	約460×676×1168mm
重量	約13.5Kg
効能・効果	温熱効果
薬事承認番号	16200BZZ00587000

## SKIP-Twin



品番	TRS-D2
赤外線ランプ	300W+300W
懸乗方式	スプリング
ランプ下65°時	床から約50cm～60cm
タイマー	0～30分連続可変
光量調整	0～97V連続可変
電源	単相AC100V 50-60Hz
外形寸法	約680×776×1200mm
重量	約24Kg
効能・効果	温熱効果
薬事承認番号	16300BZZ00097000

クラスII 特定保守管理医療機器



株式会社 タマレイ

TEL: 046-274-8822 FAX: 046-274-8822

E-mail: info@tama-ray.com



# 国民年金基金 は公的な年金制度であり

☆掛金は全額「社会保険料控除」の対象となり  
所得税や住民税が軽減されます。

☆受け取る年金にも、「公的年金等控除」があり、  
大変有利な扱いとなっています。

## 税金がこんなに有利！

### 掛金を収めているときは

掛金は全額社会保険料控除となり、所得税や住民税が軽減されます。

掛金が年額457,560円の方で課税所得が500万円の  
35歳0月の男性の場合（年金月額6万円で加入した場合）

1口目A型（12,710円）、2口目以降A型に4口（6,355円×4口）加入した場合

●年間の掛金 …………… 457,560円×（所得税率20.420%+住民税10%）  
= 139,190円 軽減

●実質の負担（年間）… 318,370円になります。

### 所得税率表

課税所得額	195万円以下	195万円超～330万円以下	330万円超～695万円以下	695万円超～900万円以下	900万円超～1,800万円以下	1,800万円超～
税率	5.105%	10.210%	20.420%	23.483%	33.693%	40.840%

※住民税は一律10%です。



### 65歳から年金を受け取るときも

公的年金等控除の対象となりますので、年金以外に収入がない場合、お一人お一人158万円までは、税金がかかりません。



※国民年金の年金月額6.5万円は、20歳から60歳までの40年間、保険料を納付した時の平成25年度の満額です。  
※国民年金基金の年金月額は、夫婦とも35歳0月で1口目終身年金A型、またはB型、2口目以降、終身年金A型・B型と確定年金I型・II型・III型・IV型・V型のうち、7つの型から4口選んだ場合。

### 【年金額・掛金額例】1口目A型の場合（月額）

加入時年齢	男性		女性		
	加入時年齢	年金額	掛金額	加入時年齢	年金額
25歳0月	20,000円	8,370円	25歳0月	20,000円	9,780円
30歳0月	20,000円	10,170円	30歳0月	20,000円	11,880円
35歳0月	20,000円	12,710円	35歳0月	20,000円	14,850円
40歳0月	15,000円	12,405円	40歳0月	15,000円	14,490円
45歳0月	15,000円	17,235円	45歳0月	15,000円	20,115円
50歳0月	10,000円	17,940円	50歳0月	10,000円	20,930円

※加入の型などお悩みでしたら、ご希望に合うマイプランをお作りすることも可能です。お気軽にお問合せください!!

お問い合わせ

日本柔道整復師国民年金基金 ☎0120-305205

〒101-0041 東京都千代田区神田須田町1-22-8 イツカビル8階 ☎03-3253-0701 FAX 専用 ☎0120-505405

ホームページ <http://www.juuseikikin.or.jp>



# 安心のために できることのすべてを

損保ジャパンと日本興亜損保は2014年9月1日に合併し、新会社「損保ジャパン日本興亜」  
としてスタートいたしました。日本でいちばん大きな安心をお届けするために、これまでの損保に  
できなかったことに取り組み、これからの損保に本当に必要なサービスを提供してまいります。

## 損保ジャパン日本興亜、誕生。

損害保険ジャパン日本興亜株式会社

〒160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1

Tel:03(3349)3111 <http://www.sjnk.co.jp/>

### 日本柔道整復師 協同組合員 のみなさまへ

毎月ご加入  
できます！

### 日整協同組合 「新・柔道整復師賠償保険制度」は 「鍼灸師賠償」がオプションとして加入できます！！

「新・柔道整復師賠償保険」では、「柔道整復師業務」の賠償事故だけでなく、任意オプションで  
「鍼灸師などの業務」「日常生活」「個人情報漏えい」の賠償事故も補償できます！！

#### 基本プラン

「基本プラン」は以下による賠償事故を補償します！

#### 「柔道整復師業務」

(柔道整復師特約)

#### 「院内施設の不備」

(施設危険担保特約)

#### 「院内施設でのケガ見舞金」

(傷害見舞費用担保特約)

#### 任意オプションプラン (任意に1つからでも選択できます)

「任意オプションプラン」は以下による賠償事故を補償します！

#### ①「鍼灸師などの業務」

(はり師、きゅう師  
あん摩・マッサージ・指圧師特約)

#### ②「日常生活」

(個人賠償責任保険)

#### ③「個人情報漏えい」

(個人情報取扱事業者保険)

\*「任意オプションプラン」だけのご加入はできません。必ず「基本プラン」とのセットでのご加入となります。

### 総合補償制度(所得補償・医療補償等)

病気・ケガ・交通事故による所得減・医療費等をトータルで補償します！！

毎月ご加入  
できます！

(所得補償保険、新・団体医療保険、交通事故傷害保険)

**40%割引！**

(団体割引20%+過去の損害率による割引25%)

日整協同組合  
ならではの  
割引です！

(団体長期障害所得補償保険)

**20%割引！**

(団体割引20%)

ご契約の際、被保険者数が1,000名未満もしくは5,000名以上になった場合、保険料が変更となります。

この内容は概要を説明したものです。詳しい内容については、取扱代理店または損保ジャパン日本興亜営業店にお問い合わせください。

<引受保険会社>

#### 損害保険ジャパン日本興亜株式会社

〒100-8965 東京都千代田区霞が関3-7-3

団体・公務開発部 第二課

(TEL)03-3593-6453 (FAX)03-3593-6751

<取扱幹事代理店>

アームリンク 株式会社

〒371-0844 群馬県前橋市古市町1-43-6 真塩ビル2F

(TEL)027-255-3233 (FAX)027-280-4659

SJNK14-06221 (2014.8.6)

「損害保険ジャパン日本興亜株式会社」は、損保ジャパンと日本興亜損保が2014年9月1日に合併して誕生した会社です。

# あなたとご家族の安心のため アフラックのがん保険・医療保険 準備されてはいかがですか？

アフラックは  
がん保険・医療保険  
契約件数

平成25年版「インシュアランス生命保険統計号」

★★★★★  
**No.1**

## 生きるための がん保険 Days

### 特長 1

入院はもちろん、三大治療  
(手術・放射線・抗がん剤)による通院は  
日数無制限で保障

### 特長 2

抗がん剤治療は通算 600 万円  
まで保障

### 特長 3

プレミアサポートで、がん専門相談  
サービスを利用できます  
(サービス提供事業者：株式会社)

### 《スタンダードプラン》

入院給付金日額10,000円コース

保険期間：終身(抗がん剤治療特約は10年)

診断給付金	がんの場合		上皮内新生物の場合	
	一時金として (それぞれ1回限り)	100 万円	10 万円	10 万円
入院給付金	1日につき 1 万円	通院給付金	1日につき 1 万円	1 万円
手術治療 給付金	1回につき 20 万円	放射線治療 給付金	1回につき 20 万円	20 万円
抗がん剤治療 給付金*	抗がん剤治療を受けた月ごとに			
	1か月 10 万円 給付倍率2倍	乳がん 前立腺がんの ホルモン療法 のとき	1か月 5 万円 給付倍率1倍	

一生  
生涯  
保障

10  
年  
満  
期  
(自動更新)

\* 上皮内新生物は対象外

## ちゃんと応える 医療保険

NEVER

### 特長 1

がんを含む病気やケガの保障が  
一生続く

### 特長 2

5日未満の入院の場合、一律  
5日分の入院給付金をお支払い  
一定期間内に再入院した場合の入院給付金のお支払い  
についてはパンフレットをご確認ください。

### 特長 3

退院後 120 日以内の通院と  
入院前 60 日以内の通院を保障

### 《通院ありプラン》

入院給付金日額10,000円コース

保険期間：終身

疾病入院給付金 災害入院給付金	日帰り入院から入院5日目まで		入院6日目以降	
	一律5日分	5 万円	1日につき	1 万円
手術 給付金	手術	入院あり(重大手術を除く) 1回につき	入院なし(重大手術を除く) 1回につき	5 万円
	重大 手術	がんに対する開頭・開胸・開腹 手術や心臓への開胸術など	1回につき	40 万円
放射線 治療給付金	1回につき		10 万円	10 万円
疾病通院給付金 災害通院給付金	1日につき		6,000 円	6,000 円

一生  
生涯  
保障

● 入院給付金日額については、契約年齢、ご職業などによりアフラック基準の限度額を定めております。

プラス

どちらの保険も『先進医療の保障』をプラスできます！

アフラックの「がん保険」「医療保険」に付加する  
先進医療の特約は、被保険者お1人につき通算し  
て1特約のみのご契約となります。

保障の対象となる先進医療は、厚生労働大臣が認める医療技術で、医療技術ごとに適応症(対象となる疾患・症状等)および実施する医療機関が  
限定されています。また、厚生労働大臣が認める医療技術・適応症・実施する医療機関は随時見直されます。

詳細につきましては、パンフレット(契約概要)をご覧ください。

資料請求いただいたお客様の個人情報の利用目的は、アフラックの各種商品やサービスの案内・提供・維持管理となります。

資料請求は  
こちらまで

募集代理店

国際保険株式会社

東京都渋谷区千駄ヶ谷5-15-5 DSBビル4F



0120-5931-98

フリーダイヤル 営業時間 平日(月～金)9:00～17:15

引受保険会社

Aflac アフラック  
(アメリカンファミリー生命保険会社)

首都圏総合支社  
東京都新宿区西新宿 1-23-7 新宿ファーストウエスト 17 階  
当社保険に関するお問合せ・各種手続き コールセンター 0120-5555-95

AF271-2014-0037 3月5日(160305)

# 公益社団法人日本柔道整復師会の皆さまへ

MS&AD

三井住友海上

## 柔道整復師会総合賠償保険

(柔道整復師特別約款・施設所有(管理)者特別約款)

昭和47年より日本柔道整復師会の会員の皆さまを  
柔道整復業務にかかわる事故からお守りしています。

保険期間: 毎年11月1日から1年間

募集期間: 8月中旬～10月下旬(詳細決定次第ご案内)

### 【特徴】

- 日本柔道整復師会と三井住友海上とが会員の皆さまのために開発した保険です。
- 地域支援事業における介護予防事業に従事中の事故も補償いたします。
- 患者様が施術所内でのケガにより通院された場合の患者様へのお見舞金等も補償いたします。

## 所得補償保険

病気・ケガでの休業を補償いたします。

保険期間: 毎年8月1日から1年間

募集期間: 6月中旬～7月中旬(詳細決定次第ご案内)

### 【特徴】

- 仕事中、私用中の病気・ケガで休診された時の収入を補償します。
- 保険料は**40%割引**であり、個人でご契約されるよりお得です。

(団体割引<sup>(注1)</sup>20%+損害率による割引<sup>(注2)</sup>25%)

(注1) ご加入いただいた被保険者数によって決定されます。

(注2) 損害率により、毎年割引率が見直しされます。

なおこれらの割引率は平成25年に保険期間を開始した契約のものです。

※この内容は保険の特徴を説明したものです。詳しい内容については、専用パンフレット「日本柔道整復師会団体所得補償保険のおすすめ」「柔道整復師会総合賠償保険のおすすめ」をご参照いただくか取扱代理店または三井住友海上の営業店にお問い合わせください。

<団体窓口>

公益社団法人日本柔道整復師会 事務局 TEL03-3821-3511

<引受保険会社>

三井住友海上火災保険株式会社

広域法人部営業第一課

〒101-8011 東京都千代田区神田駿河台 3-11-1

TEL03-3259-6692 FAX03-3259-7218

<主要取扱代理店>

株式会社ウーベル保険事務所

〒104-0041 東京都中央区新富 2-4-5 ニュー新富ビル 8F

TEL03-3553-8552 FAX03-3553-8553

深部加温がスポーツ選手の力になる  
 損傷からのケア時間の短縮  
 スポーツで疲れた体の疲労回復



## RAFOS Premium

ハイパワー高周波温熱機器 (ラジオ波)

## RAFOS mini

Portable Radio Frequency Device



【小型持ち運びタイプ】

高周波温熱機器では、筋肉を「ほぐす」「緩む」ということが最大の特徴です。ハンドによるマッサージだけではほぐしきれない体質の方も、深部加温を施術前にすることで、より筋肉が緩み、相乗効果が期待できます。ヨーロッパのサッカーチーム等では深部加温で施術をすることが主流となっています。双方の相乗効果により筋の疲労回復や可動領域の拡大に期待ができカラダを Adjust (アジャスト / 調整) させます。



**RET (Resistive Electrode Transfer)**

深部加温 RET 方式



**CET (Capacitive Electrode Transfer)**

浅部加温 CET 方式



**MULTIPOLAR (Multipolar Electrode Transfer)**

セルフトリートメントが可能なセルフハンドプローブ



**CET (Capacitive Electrode Transfer)**

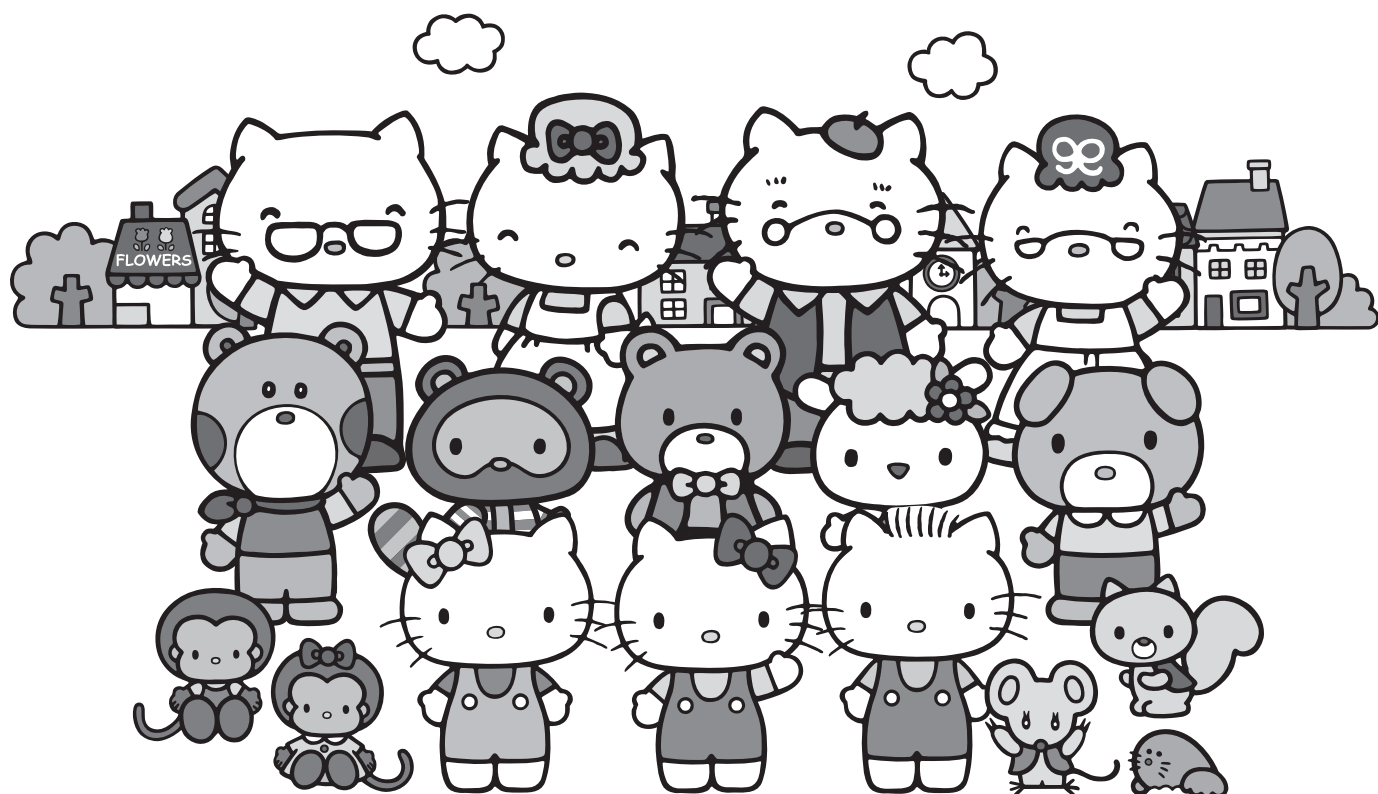
深部加温 CET 方式



**SHP (Self Hand Probe)**

セルフトリートメントが可能なセルフハンドプローブ

フコク生命は、「ハローキティ」とともに  
夢と安心をあなたにお届けします!!



# HelloKitty

©1976,1999,2014 SANRIO CO., LTD. APPROVAL NO.G542432

「ハローキティ」は、フコク生命のイメージキャラクターです。

富国生命保険相互会社

〒100-0011 東京都千代田区内幸町 2-2-2 TEL：03-3508-1101（大代表）

登広-法市-1500 (H26.6.19)

すてきな未来応援します

**フコク生命**

柔道整復師向 事務管理システム

# 三四郎くんは、 日本全国で最も多く使われている 接骨院・整骨院専用のレセコンです!



他社からのデータ移動も  
お任せ下さい!

使い勝手の良い操作性はもちろん、療養費改正等の保険改正にすばやく対応。  
迅速サポートでご好評を頂いている『三四郎くん』は、常に進化を続ける信頼と実績の事務管理ソフトです。



保険証入力画面  
傷病通院入力画面

オプションで  
さらに便利!



保険証リーダー



サーマルプリンタ



バーコードシステム

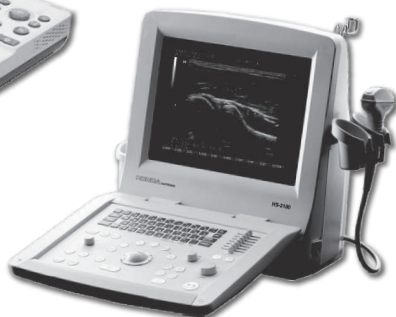
## 超音波画像観察装置 ラインナップ

骨・軟骨・筋・腱・靭帯などがリアルタイムに観察できます。



サムスン電子ジャパン  
**MySono U6**  
医療機器認証番号 第 224AFBZX00078000 号

本多電子  
**HS-2100**  
医療機器認証番号 第 220AABZX00349000 号



日立アロカメディカル  
**Noblus**  
医療機器認証番号 第 224ABBZX00092000 号

その他、様々な機種を取り揃えております。



株式会社 **エス・エス・ビー**

本社 〒305-0853 茨城県つくば市榎戸748-2 沼尻産業ビル  
TEL 029-839-0346 / FAX 029-838-0874

営業所 札幌、青森、仙台、北陸、長野、名古屋、関西、  
中国四国、福岡、鹿児島

WEB <http://www.sanshiro-net.co.jp>

QRコード



最新柔整情報が読める!! 柔整ホットニュース  
▶▶▶ <http://www.jusei-news.com/>



## 柔道整復師倫理綱領

国民医療の一端として柔道整復術は、国民大衆に広く受け入れられ、民族医学として伝承してきたところであるが、限らない未来へ連綿として更に継承発展すべく、倫理綱領を定めるものとする。ここに柔道整復師は、その名譽を重んじ、倫理綱領の崇高な理念と、目的達成に全力を傾注することを誓つものである。

- 1、柔道整復師の職務に誇りと責任をもち、仁慈の心を以て人類への奉仕に生涯を費く。
- 2、日本古来の柔道精神を涵養し、国民の規範となるべく人格の陶冶に努める。
- 3、相互に尊敬と協力を努め、分をわきまえ法を守り、業務を遂行する。
- 4、学問を尊重し技術の向上に努めると共に、患者に対して常に真摯な態度と誠意を以て接する。
- 5、業務上知りえた秘密を厳守すると共に、人種、信条、性別、社会的地位などにかかわらず患者の回復に全力を尽す。